

JT-H450.5
JT-H323のための
コールパーク、コールピックアップ付加サービス

Call Park and Call Pickup Supplementary Services
for JT-H323

第1版

1999年11月25日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

<参考>

1．国際勧告等との関連

本標準はITUにおいて制定されたH.323におけるコールパーク、コールピックアップ付加サービスH.450.5第1版(1999年)に準拠している。

2．上記勧告等に対する追加項目等

本標準では国際標準において編集上の誤りと考えられる点については修正すると共に本文中にその旨を「注記」として明記した。

3．改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	1999年11月25日	制定

4．工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

5．その他

(1)参照している勧告、標準等

ITU-T勧告：

H.323、H.225.0、H.245、H.450.1

ISO/IEC標準：

TTC標準：

JT-H323、JT-H225.0、JT-H245、JT-H450.1

(2)他の国内標準との関連

目次

1	適用範囲.....	2
2	参照している標準	2
3	用語と定義.....	2
4	略語.....	4
5	概要.....	5
5.1	コールパーク.....	5
5.2	コールピックアップ.....	6
6	メッセージと情報要素.....	7
7	手順.....	8
7.1	パーク元エンドポイント A での動作.....	8
7.2	被パークエンドポイント B での動作.....	8
7.3	パーク先エンドポイントでの動作	10
7.4	発信エンドポイントでの動作(呼出呼のSS - PICKUP)	11
7.5	呼出エンドポイントでの動作(呼出呼のSS-PICKUP)	12
7.6	サービス対象エンドポイントでの動作	13
7.7	ピックアップグループメンバエンドポイントでの動作	14
7.8	ピックアップ元エンドポイントでの動作	15
7.9	別手順.....	16
7.9.1	ローカルSS-PARKとローカルパークからのピックアップ.....	16
8	相互接続.....	17
8.1	回線交換網との相互接続.....	17
8.2	他の付加サービスとの相互接続	17
8.2.1	着信転送 (JT-H450.3)	17
8.2.2	保留 (JT-H450.4)	17
8.2.3	コールウエイティング (JT-H450.6)	17
8.2.4	JT-H323会議.....	17
8.2.5	転送 (JT-H450.2)	17

8.3 JT-H225.0パラメータとの相互作用	18
9 ゲートキーパ動作	18
9.1 正常手順	18
9.2 呼出呼のSS-PICKUPのための代替GK手順.....	18
9.2.1 呼出エンドポイントがSS-PICKUPをサポートしていない場合.....	18
9.2.2 発信エンドポイントと呼出エンドポイントが、SS-PICKUPをサポートしていない場合	19
9.2.3 ゲートキーパでの呼出呼のグループピックアップ.....	19
9.3 被パーク呼のSS-PARK、SS-PICKUPのための代替GK手順.....	20
10 動作概要.....	21
10.1 操作モデルとシグナルフロー	21
10.1.1 SS-PARK.....	21
10.1.2 被パーク呼のSS-PICKUP, パーク解除.....	23
10.1.3 呼出呼のSS-PICKUP.....	25
10.2 シグナリングエンティティとそのシグナリングエンティティユーザ間の通信(プリミティブとパラメータ).....	30
10.2.1 パーク元エンドポイント	30
10.2.2 被パークエンドポイント	31
10.2.3 パーク先エンドポイント	33
10.2.4 ピックアップ元エンドポイント	34
10.2.5 発信エンドポイント.....	35
10.2.6 呼出エンドポイント.....	35
10.2.7 サービス対象 エンドポイント	36
10.2.8 グループメンバーエンドポイント.....	37
10.3 呼状態.....	37
10.3.1 パーク元エンドポイント A.....	37
10.3.2 被パークエンドポイント B.....	38
10.3.3 パーク先エンドポイント (パーク先).....	38
10.3.4 発信エンドポイント.....	38
10.3.5 呼出エンドポイント.....	38
10.3.6 サービス対象 エンドポイント	38
10.3.7 グループメンバー エンドポイント.....	38
10.3.8 ピックアップ元エンドポイント	39
10.4 タイマー.....	39
11 SS-PARKとSS-PICKUPをサポートするオペレーション.....	40
12 仕様記述言語 (SDL) 図.....	47
12.1 SS-PARK SDL:	49
12.2 SS-PICKUP SDL:	53
12.3 SS-PARK、SS-PICKUP グループ通知:	61

要約

本標準は、JT-H323におけるコールパークとコールピックアップ付加サービスに関する手順およびシグナリングプロトコルについて記述する。

コールパーク（SS-PARK）付加サービスにより、パーク元ユーザAは、ユーザB（被パークユーザ）との既存呼を、パーク先へ置くことができる。パークが行われた端末、あるいは、別の端末から、被パークパーティを復旧することによって、後にその呼をコールピックアップすることができる。

コールピックアップ（SS-PICKUP）付加サービスにより、ピックアップ元ユーザは、被パーク呼、あるいは、呼出呼をピックアップすることができる。SS-PICKUPの起動が成功すると、ピックアップ元ユーザは、被パークユーザ、発信ユーザそれぞれと接続される。

本標準は、標準JT-H450.1で定義された「JT-H323における付加サービス実現のための汎用機能プロトコル」を利用する。

1 適用範囲

本標準は、JT-H323エンドポイントによってサポートされる種々の基本サービスに適用可能なコールパーク（SS-PARK）とコールピックアップ（SS-PICKUP）について記述する。

2 参照している標準

以下のITU-T勧告、TTC標準および他の参考文献は、本標準の規定を構成する規定を含み、このテキストから参照される。発行時、以下の示す版数が有効であった。全ての勧告、標準および他の参考文献は、改訂される。そのため、本標準の全ユーザは、以下にリストされた勧告、標準および他の参考文献の最も新しい版数の適用の可能性を研究することを勧める。現在有功なITU-T勧告、TTC標準のリストは、定期的に出版されている。

TTC標準JT-H323 Version 2(1998), パケットに基づくマルチメディア通信システム

TTC標準JT-H225.0 Version 2(1998), サービス品質非保証型LANでのメディアストリームのパケット化および同期化

TTC標準JT-H245 Version 3(1998), マルチメディア通信のための制御プロトコル

TTC標準JT-H450.1(1998), JT-H323における付加サービス実現のための汎用機能プロトコル

3 用語と定義

呼出呼 (Alerting call)

まだ着信ユーザによって応答されていない、着信ユーザ（呼出状態）に対する基本JT-H323呼。呼出状態の間、権限を与えられたピックアップ元ユーザは、その呼をコールピックアップしてもよい。

呼出エンドポイント / ユーザ (Alerting endpoint / user)

ピックアップ元ユーザによりピックアップされる、呼び出されている（呼出呼）エンドポイント / ユーザ

発信エンドポイント / ユーザ (Calling endpoint / user)

呼出エンドポイント / ユーザに対して発呼し、ピックアップ元ユーザによって、ピックアップされるエンドポイント / ユーザ

指定パーク (Directed park)

指定パークにより、パーク元ユーザは、ある端末のエンドポイントに関連づけられたパーク先に呼をパークすることができる。一般的に、パーク元ユーザは、パーク先の番号を明示し、この番号をパーク先を指定するために用いる。

指定ピックアップ (Directed pickup)

指定ピックアップにより、ピックアップ元ユーザは、パーク先（すなわち、パーク先ユーザ）の番号、あるいは、呼出ユーザの番号を明示することによって、被パーク呼、あるいは、呼出呼をピックアップすることができる。

グループメンバエンドポイント / ユーザ (Group member endpoint / user)

ピックアップグループのメンバであり、ピックアップされる被パーク呼 / 呼出呼についての通知を受けるエンドポイント / ユーザ

グループパーク (Group park)

グループパークにより、パーク元ユーザは、ピックアップグループに関連づけられ、一般に、サービス対象エンドポイントに置いてよいパーク先へ呼をパークすることができる。事前設定された番号をパーク先を指定するために用いてもよい。

グループピックアップ (Group pickup)

グループピックアップにより、ピックアップ元ユーザは、グループに関連づけられた被パーク呼あるいは、呼出呼をピックアップすることができる。一般に、事前設定された番号が、パーク先あるいは、呼出エンドポイントを指定するために用いられる。

JT-H323呼 (H.323 Call)

標準JT-H323参照

番号 (Number)

JT-H225.0別名アドレス (JT-E164番号、URLアドレス、電子メールアドレス等) を示すために用いられるユーザの番号 (例 パーク先ユーザの番号、呼出ユーザの番号)

パーク元エンドポイント / ユーザ; ユーザA (Parking endpoint / user; User A)

ユーザBとの呼がアクティブな状態の間に、SS-PARKを起動し、結果的にユーザBをパーク先へ接続するユーザ / エンドポイント

被パークエンドポイント / ユーザ; ユーザB (Parked endpoint / user; User B)

パーク元ユーザによるSS-PARK起動後に、パーク先へ接続されるユーザ / エンドポイント。いったんユーザBがパークされると、そのユーザ / エンドポイントは、ピックアップ元ユーザによってピックアップされるのを待つ。

パーク先 (パーク先エンドポイント / エンティティ / ユーザ)

(Parking Position (Parked-to endpoint / entity / user))

被パークエンドポイントがパークされ、その後、ピックアップされるパーク先エンドポイントに割り当てられた場所。パーク先をゲートキーパ内に置いてよい。

パーク先では、1つの呼をパークしても、あるいは、1つ以上の呼を同時にパークしてもよい。実装によっては、パーク先エンドポイント内のある特定のパーク先を明示的に確認してもよいし、複数の呼のパーク、その後のピックアップができるように、キューイングの概念を用いてもよい。

パーク先エンドポイントにパークされるある特定の呼を、パーク先によって、あるいは、呼識別子によって明示的に確認してもよい。SS - PICKUPがピックアップされる呼を確認する明示的な情報をまったく提供しない場合、パーク先エンドポイントにパークされた呼（例えば、キューの先頭の呼）のどれを選択してもよい。

パーク先をJT-H323端末エンドポイント内、あるいは、JT-H323サーバエンドポイント内に置いてもよい。

パーク先の定義は、グループパーク、ピックアップと同様に、指定パーク、ピックアップにも適用される。

パーク先は、呼をパークするユーザが、各々のアクセス権を確認し、呼をピックアップするユーザが、各々のアクセス権を確認することを要求してもよい。

ピックアップ元エンドポイント/ユーザ(Picking-up endpoint / user)

被パーク呼あるいは、呼出呼をピックアップするユーザ/エンドポイント

ピックアップグループ(Pickup Group)

グループの1メンバがピックアップできる呼を受信した時に、通知を行ってもよいユーザの一群。それぞれのグループメンバは、SS-PICKUPを用いて、呼に応答するための権限が与えられる。

第1呼(Primary call)

パーク元ユーザと被パークユーザとの間の呼

被パーク呼(Parked call)

被パークユーザとパーク先との間の呼

サービス対象エンドポイント(Served endpoint)

ピックアップグループメンバに、被パーク呼/呼出呼がピックアップできることを通知するパーク先のエンドポイントあるいは、呼出エンドポイント

パーク解除エンドポイント/ユーザ(Unparking endpoint / user)

被パーク呼をピックアップする時、ピックアップ元ユーザをパーク解除ユーザとも言う。

4 略語

本標準の目的のために、以下の略語を使用する。

ASN.1	抽象構文記法1
(A)PDU	アプリケーション・プロトコル・データ・ユニット
GK	ゲートキーパー
NFE	拡張ネットワークファシリティ

SCN	回線交換網
SDL	仕様記述言語
SS	付加サービス
SS-PARK	コールパーク付加サービス
SS-PICKUP	コールピックアップ付加サービス

5 概要

コールパーク（SS-PARK）付加サービスにより、ユーザA（パーク元ユーザ）は、ユーザB（被パークユーザ）との既存呼をパーク先（パーク先エンドポイント）へ置くことができる。

SS-PARKの起動が成功すると、パーク元エンドポイントは、空き（ローカルSS-PARKの場合を除く）になり、もはや、ユーザBとの呼に関わらない。一般に、パーク先は、被パークユーザがパークされている間、被パークユーザへ、音楽／アナウンス、かつ／または、動画／静止画を送信する。

コールピックアップ（SS-PICKUP）付加サービスにより、ユーザ（ピックアップ元ユーザ）は、被パーク呼を復旧することもできるし、呼出呼をピックアップすることもできる。

- ・パーク元エンドポイントA、パーク先エンドポイント、権限のある他のすべてのエンドポイントから被パークユーザを復旧することによって、被パーク呼をピックアップ（パーク解除）してもよい。
- ・権限のあるすべてのピックアップ元ユーザによって、呼出呼をピックアップしてもよい。

SS-PARK、SS-PICKUPの構造により、JT-H323ネットワークの権限のあるすべてのユーザは、この付加サービスに参加することができる。また、これは、単一のゲートキーパゾーン内のユーザだけではない。

ユーザが与えられた呼（被パーク呼あるいは、呼出呼）のピックアップを許容されるか否かは、実装の問題であり、この標準の範囲外である。

SS-PICKUPの起動が成功すると、ピックアップ元ユーザは、被パークユーザに接続される（被パーク呼をピックアップした場合）、あるいは、発信ユーザに接続される。（呼出呼をピックアップした場合）

SS-PARKとSS-PICKUPは、付加サービスが起動されている完全なJT-H323呼に適用する。メディアストリームのサブセットのためにSS-PARKあるいは、SS-PICKUPを使用することは、JT-T120呼をパークし、ピックアップするのと同様、今後の課題である。

5.1 コールパーク

SS-PARK付加サービスに加わったユーザAは、呼がアクティブな状態で、次のオプションの1つを用いて、SS-PARKを起動してもよい。

指定パーク

呼は、パーク元ユーザが指示する宛先にパークされる。この宛先は、パーク先ユーザに割り当てられる。

パーク先が利用できる場合、パーク先ユーザの状態（ビジー、空き）に関わらず、呼はパーク先エンドポイントにパークされる。パーク先ユーザへ通知してもよい。

パーク先ユーザがピックアップグループメンバーである場合、他のグループメンバーへ通知を行うかどうかは、オプションである。いったん呼がパークされると、ピックアップグループの他のメンバーは、被パーク呼をピックアップしてもよい。

グループパーク

特定のユーザにではなく、ピックアップグループに割り当てられ、事前設定された宛先に、呼はパークされる。この宛先は、1つのパーク先から構成されてもよいし、あるいは、1つ以上のパーク先から構成されてもよい。ピックアップグループのすべてのメンバに、被パーク呼の通知を行ってもよい。

コールパークの成功後、ユーザAは空きになり、ユーザBは、パーク先にパークされる。

第1呼の間にオープンされたメディアチャネルを、被パーク呼に対してもオープンしてもよい。すなわち、第1呼が音声、画像ストリームを含む呼の場合、同様に、被パークユーザへ、音声（音楽、アナウンス）、画像（ビデオクリップ、静止フレーム等）をとともに送信してもよい。

被パーク呼が設定時間内にピックアップされない場合、被パーク呼をパーク元ユーザに対して再呼出してもよい。コールパーク起動が失敗した場合（例えば、被パーク呼がすでに最大数に達していた場合）、ユーザAにコールパーク起動エラーが通知されなければならない。

5.2 コールピックアップ

シナリオA：被パーク呼のSS-PICKUP（指定ピックアップ）

呼は、指示されたパーク先ユーザにパークされている。パーク先ユーザへ通知し、他のピックアップグループメンバへオプションとして通知してもよい。ピックアップ元ユーザ（パーク元ユーザかもしれない）は、パーク先ユーザの番号を確認し、被パークユーザへの接続を要求する。一般に、ピックアップ元ユーザは、他の端末から呼をピックアップするパーク元ユーザである。パーク先エンドポイントにピックアップ対象となる被パーク呼を明示的に確認する識別子が提供されない場合（パーク先での複数被パーク呼の場合）、パーク先エンドポイントは、いかなる被パーク呼を選択し、ピックアップしてもよい。（例えば、キューの先頭の被パーク呼を選択してもよい）選択されたパーク先ユーザ/パーク先で復旧待ちの呼がない場合、ピックアップ要求は拒否される。

シナリオB：被パーク呼のSS-PICKUP（グループピックアップ）

ピックアップグループのパーク先に呼がパークされている。他のグループメンバは、被パーク呼について通知されていてもよい。その呼をピックアップしたいメンバは、グループコールピックアップを要求してもよく、それによって、（事前定義されたアドレスに存在するかもしれない）パーク先へ呼を確立することができる。被パーク呼は、最初の要求ユーザに接続される。パーク先エンドポイントが、複数の被パーク呼をサポートしている場合（例えば、複数のパーク先がピックアップグループに関連づけられている場合、あるいは、キューイング概念が用いられている場合）、次の被パーク呼が利用可能であれば、次にその宛先に対してSS-PICKUPを起動することにより、次の被パーク呼はピックアップされる。（その被パーク呼に接続される。）あるいは、次のSS-PICKUP要求は拒否される。ピックアップ元ユーザは、パーク先エンドポイントでピックアップされる呼を明示的に確認してもよい。

シナリオC：呼出呼のSS-PICKUP（指定ピックアップ）

あるユーザを呼び出している呼がある。呼出ユーザのことを知っており、その呼を復旧することを望む他のユーザは、呼出ユーザの番号を確認し、発信ユーザへ接続するための動作を開始する。呼出ユーザにおいて呼び出しを行っている複数の呼がある場合、ピックアップ元ユーザが1つ以上の呼出呼を明示的に確認する場合、しない場合とも、1つ以上の呼出呼は、SS-PICKUPに従ってもよい。1つ以上の呼出呼が明示的に確認されない場合、呼出エンドポイントは、どの呼出呼をSS-PICKUPのために選択してもよい。

シナリオD：呼出呼のSS-PICKUP（グループピックアップ）

ピックアップグループに属するユーザを呼び出している呼がある。他のすべてのグループメンバに、呼出呼について通知すべきである。呼を復旧したいグループメンバは、グループコールピックアップを要求してもよく、これにより、以下の場合に、ピックアップ元ユーザとある特定の呼出呼の間に呼の確立が開始される。

- ・ピックアップ元ユーザが、ピックアップされる呼出呼を明示的に確認する場合、あるいは、
- ・ピックアップ元エンドポイントが、ピックアップされる特定の呼出呼を確認する場合（例えば、受信された以前のグループ通知に基づいて）

すでにピックアップされている以前の呼出呼に関するその後のピックアップ要求は、拒否される。

ピックアップ元ユーザ/エンドポイントが、SS-PICKUPの一部として接続する呼出呼を明示的に確認しない場合、ピックアップ元ユーザは、グループメンバの呼出呼の1つに接続される。ピックアップする特定の呼を確認しない他のグループメンバからのピックアップ要求は、グループメンバの1つにおいて呼び出しを行っている次の呼へ接続される。グループメンバを呼び出している呼がない場合、ピックアップ要求は拒否される。

SS-PICKUPが成功すると、ピックアップ元ユーザは、被パークユーザ/発信ユーザと通信することができる。

被パーク呼のためにオープンされたメディアチャンネルを被ピックアップ呼のためにオープンしてもよい。すなわち、被パーク呼が音声、動画呼の場合、被ピックアップ呼は、可能ならば、同様に、音声と動画ストリームを確立すべきである。（端末ケイパビリティの交換手順によるが）

6 メッセージと情報要素

SS-PARKとSS-PICKUPのオペレーションは、TTC標準JT-H450.1で定義されているように、呼制御やファシリティメッセージ内の（ユーザ・ユーザ情報要素内に設定されて運ばれる）h4501SupplementaryService APDUに設定されて送信される。特定のSS-PARKやSS-PICKUPオペレーションは、11章に定義する。

11章に定義されるオペレーションのInvoke APDUを送信するとき、NFEのdestinationEntityデータ要素は、"endopoint"の値を含まなければならない。

cpSetupあるいは、**pickExe**オペレーションのInvoke APDUを送信する時、Interpretation APDUは値、'clearCallIfAnyInvokePduNotRecognized'を含まなければならない。

cpRequest、**pickrequ**、**pickup**、**groupIndicationOn**あるいは、**groupIndicationOff**オペレーションのInvoke APDUを送信する時、Interpretation APDUを省略するか、値 'rejectAnyUnrecognizedInvokePdu'を含まなければならない。

cpNotifyあるいは、**cpickupNotify**オペレーションのInvoke APDUを送信する時、Interpretation APDUは、値 'discardAnyUnrecognizedInvokePdu'を含まなければならない。

7 手順

7.1 パーク元エンドポイントAでの動作

JT-H225.0呼制御状態がactive (U10) の間に、パーク元ユーザAからSS-PARK要求を受信すると、パーク元エンドポイントAは、**cpRequest** Invoke APDUを含むファシリティメッセージを被パークエンドポイントBへ送信し、CP-Requested状態に遷移し、タイマT1をスタートしなければならない。**cpRequest** invoke APDUは、parkingNumber (ユーザA)、parkedNumber (ユーザB)、parkedToNumber (パーク先の番号) という引数を含まなければならない。また、オプションとして、parkedToPosition (パーク元ユーザがある特定のパーク先に呼をパークすることを望む場合) という引数を含んでもよい。

被パークエンドポイントからの解放完了メッセージに設定された**cpRequest** Return Result APDUを受信することによって、SS-PARKの成功結果が通知されなければならない。**cpRequest** Return Result APDUは、parkedToNumber、(パーク先ユーザが空きかビジーカー、グループパークの一部として呼がパークされるか、あるいは、条件が特定されないかを示す) parkConditionという引数を含まなければならない。また、オプションとして、parkedToPositionという引数を含んでもよい。parkedToPositionの値は、**cpRequest** invoke APDUにオプションとして設定されて送られた値と比べて、異なってもよい。

CpRequest Return Result APDUを受信すると、パーク元エンドポイントは、CP-Idle状態に遷移し、タイマT1をストップしなければならない。(もし存在する場合は、) JT-H245コネクションや論理チャネルを切断しなければならない。

JT-H225.0呼制御状態がactiveと異なる状態の間に、パーク元ユーザAからローカルのSS-PARK要求を受信すると、パーク元エンドポイントは、このローカルな付加サービス要求を拒否しなければならない。

(被パークエンドポイント、あるいは、パーク先エンドポイントで、) SS-PARKの結果が不成功の場合、被パークエンドポイントBから、不成功結果の理由を通知するファシリティメッセージに設定された**cpRequest** Return Error APDUもしくは、Reject APDUを受信しなければならない。タイマT1をストップし、CP-Idle状態へ遷移しなければならない。ユーザAとユーザBとの呼は、継続しなければならない。

タイマT1がタイムアウトした場合、パーク元エンドポイントは、CP-Idle状態へ遷移し、ユーザBとの呼を継続しなければならない。

SS-PARKの不成功結果は、パーク元ユーザへ通知しなければならない。

7.2 被パークエンドポイントBでの動作

SS-PARK

JT-H225.0呼制御状態がactiveの間に、パーク元エンドポイントAから、第1呼上の**cpRequest** Invoke APDUを受信すると、被パークエンドポイントBは、SS-PARKに参加することができるかどうか決定しなければならない。参加が可能ならば、被パークエンドポイントBは、パーク先エンドポイントへの被パーク呼を確立するために、受信した**cpRequest** Invoke APDU内のparkedToNumberを用いなければならない。

パーク先エンドポイントへ送信される呼設定メッセージは、parkingNumber (ユーザA)、parkedNumber (ユーザB)、parkedToNumber、parkedToPosition (**cpRequest** Invoke APDUに設定されて受信される場合) という引数を含む**cpSetup** Invoke APDUを含まなければならない。CP-SetupRequ状態に遷移しなければならない。また、オプションとして、被パークエンドポイントBで、タイマT2をスタートしてもよい。

パーク先エンドポイントから、**cpSetup** Return Result APDUを含む経過表示メッセージを受信すると、被パークエンドポイントBは、（動作している場合、）タイマT2をストップし、パーク元エンドポイントAへ、**cpRequest** Return Result APDUを含む解放完了メッセージを送信し、CP-Idle状態へ遷移しなければならない。

被パークエンドポイントとパーク先エンドポイントとの間のJT-H245コネクション、論理チャネルの確立は、標準のJT-H323手順に従わなければならない。

パーク元エンドポイントAとの間の第1呼のためにオープンされたメディアチャネルを、被パーク呼のためにオープンしてもよい。あるいは、被パークエンドポイントとパーク先エンドポイントとの間で、他のメディアチャネルの利用を自動的にネゴシエートしてもよい。

被パークユーザは、この呼にとって適当な、パーク先エンドポイントからのアナウンス、音楽、動画等のための受信論理チャネルを待たなければならない。

パーク元エンドポイントAから**cpRequest** Invoke APDUを受信すると、被パークエンドポイントBは、SS-PARKに参加できない場合、被パークエンドポイントBからパーク元エンドポイントAへのファシリティメッセージに設定した**cpRequest** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを返信しなければならない。

被パークエンドポイントBでタイマT2がタイムアウトすると、あるいは、CP-SetupRequ状態の間に、被パーク呼の呼クリア通知を受信すると、被パークエンドポイントは、パーク元エンドポイントAへ、ファシリティメッセージに設定して、**cpRequest** Return Error APDUを送信し、動作している場合、タイマT2をストップし、CP-Idle状態へ遷移しなければならない。

パーク先エンドポイントから**cpSetup** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを受信すると、被パークエンドポイントBからパーク元エンドポイントAへ、**cpRequest** Return Error APDUに設定して、同じエラー値を送信しなければならない。

CP-SetupRequ状態の間に第1呼がクリアされると、被パークエンドポイントは、動作している場合、タイマT2をストップし、被パーク呼をクリアし、CP-Idle状態へ遷移しなければならない。

CP-Idle状態（すなわち、**cpSetup** Return Result APDUが受信された後）の間に、被パーク呼がクリアされると、パーク元エンドポイントを、再び呼び出してもよい。

SS-PICKUP

（パーク先エンドポイントにとってローカルなピックアップ元ユーザによる）SS-PICKUP

パーク先エンドポイントからの応答メッセージに設定された**pickup** Invoke APDUを受信してもよい。サポートされ、許容されるならば、発信エンドポイントは、ファシリティメッセージに設定して**pickup** Return Result APDUを返信しなければならない。

JT-H245コネクション、論理チャネルが被パーク呼の一部として、既に利用可能であるならば、保持してもよい。あるいは、JT-H245コネクション、論理チャネル確立のために、標準JT-H323手順を用いなければならない。

被パークエンドポイントが、SS-PICKUP要求を受け付けられない場合、解放完了メッセージに設定して、パーク先エンドポイントへ、**pickup** Return Error ADPUあるいは、Reject APDUを返信しなければならない。

（パーク先エンドポイントにとってリモートなピックアップ元ユーザによる）SS-PICKUP

ファシリティメッセージに設定された**pickup** Invoke APDUを受信してもよい。**pickup** Invoke APDUは、ピックアップ元エンドポイントへ呼を再確立するように要求する。サポートされ、許容される場合、被パークエンドポイントは、**pickup** Return Result APDUを返信しなければならない。あるいは、パーク先エンドポイントへ**pickup** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを返信しなければならない。

SS-PICKUPがこの呼に対して許容され、可能である場合、被パークエンドポイントは、（呼設定メッセージを送信して、）**pickExe** Invoke APDUを含む呼確立をピックアップ元エンドポイントに対して開始しなければならない。受信した**pickup** Invoke APDUのとおり、**callPickupId**、**picking-upNumber**、**PartyToRetrieve**要素を送信しなければならない。タイマT10をスタートし、**CpickupSetupInit**状態へ遷移しなければならない。

CpickupSetupInit状態の間に、ピックアップ元エンドポイントから応答メッセージに設定された**pickExe** Return Result APDUを受信すると、タイマT10をストップし、CP-Idle状態へ遷移しなければならない。パーク先エンドポイントへの被パーク呼は、解放されなければならない。以後の呼確立（JT-H245コネクション、論理チャネル）は、標準JT-H323手順に従わなければならない。

ピックアップ元エンドポイントから、**pickExe** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを受信すると、被パークエンドポイントは、タイマT10をストップし、（まだ、解放されていない場合、）ピックアップ元エンドポイントへの呼を解放し、CP-Idle状態へ遷移しなければならない。

7.3 パーク先エンドポイントでの動作

SS-PARK

被パークエンドポイントから、**cpSetup** Invoke APDUを設定した呼設定メッセージを受信すると、パーク先エンドポイントは、受信した**parkingNumber**（ユーザA）、**parkedNumber**（ユーザB）、**parkedToNumber**、オプションの**parkedToPosition**をチェックしなければならない。そして、この特定の呼に対してSS-PARKが許容されているかどうかをチェックしなければならない。SS-PARKがこの呼に対して許容されている場合、**parkedToNumber**、**parkedToPosition**、**parkCondition**（**unspecified**、**parkedToUserIdle**、**parkedToUserBusy**あるいは、**parkedToGroup**）を含む**cpSetup** Return Result APDUを経過表示メッセージに設定して、被パークエンドポイントへ返信しなければならない。

CP-WaitforPickup状態へ遷移し、タイマT3をスタートしなければならない。

オプションとして受信される**cpSetup** Invoke APDUに設定された**parkedToPosition**は、可能ならば、パーク先エンドポイントによって尊重されなければならない。提案された**parkedToPosition**が利用可能でない場合、パーク先エンドポイントは、代替の**parkedToPosition**を選択してもよい。パーク先エンドポイントは、選択した**parkedToPosition**を、**cpSetup** Return Result APDUに設定して、返信しなければならない。パーク先の概念が全くサポートされない場合、パーク先エンドポイントは、**cpSetup** Invoke APDUに設定され受信された**parkedToPosition**を無視しなければならない。また、**cpSetup** Return Result APDUに、引数**parkedToPosition**を含んではならない。

JT-H245コネクションと論理チャネルの確立は、標準JT-H323手順に準拠しなければならない。第1呼のためにオープンされたメディアチャネルは、被パーク呼のためにオープンしてもよい。あるいは、被パークエンドポイントと、パーク先エンドポイントの間で自動的にネゴシエートしてもよい。

パーク先エンドポイントは、この呼にとって適当な、音楽、アナウンス、静止画、かつ/あるいは、動画を被パークエンドポイントへ提供してもよい。

cpSetup Invoke APDUを受信したが、この呼にとって、SS-PARKが受け入れられない場合、適切なエラー値を含む**cpSetup** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを被パークエンドポイントへ返信しなければならない。

タイマT3がタイムアウトすると、被パーク呼を、解放しなければならない。

SS-PICKUP

ピックアップ元ユーザが、パーク先エンドポイントにおいてローカルな場合

（パーク先エンドポイントが、ピックアップ元エンドポイントの場合）

ピックアップ元ユーザがSS-PICKUP要求を受信すると、ピックアップ元エンドポイントは、ピックアップ元ユーザが、被パーク呼をパーク解除することを許されているかどうかチェックしなければならない。許されている場合、**pickup** Invoke APDUを被パーク呼の呼番号を用いた応答メッセージに設定して、被パークエンドポイントへ送信しなければならない。ピックアップ元エンドポイントは、CpickupRequested状態に遷移し、タイマT6をスタートしなければならない。

ピックアップが、被パークエンドポイントに受け入れられる場合、ファシリティメッセージに設定された**pickup** Return Result APDUを受信しなければならない。これによって、ピックアップ元エンドポイントは、CpickupIdle状態へ遷移し、タイマT6をストップしなければならない。さらに、タイマT3をストップしなければならない。

JT-H245コネクション、論理チャンネルは、被パーク呼から保持してもよい。

CpickupRequested状態で、解放完了メッセージに設定された**pickup** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを受信すると、被パーク呼の呼解放を継続し、T6,T3をストップし、CpickupIdle状態に遷移しなければならない。CpickupRequested状態で、解放完了以外のメッセージ（例えば、ファシリティ）に設定された**pickup** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを受信すると、パーク先エンドポイントは、被パーク呼を解放（すなわち、解放完了を送信）し、タイマT6、T3をストップし、CpickupIdle状態へ遷移しなければならない。タイマT6がタイムアウトした場合、被パークエンドポイントへ解放完了メッセージを送信し、被パーク呼の解放を開始し、タイマT3をストップし、CpickupIdle状態へ遷移しなければならない。

ピックアップ元ユーザが、パーク先エンドポイントにとってリモートな場合

（パーク先エンドポイントとピックアップ元エンドポイントが異なる場合）

CP-WaitforPickup状態で、ピックアップ元エンドポイントから、**pickrequ** Invoke APDUを受信し、（ローカルにチェックした結果）この呼に対してSS-PICKUPが許容されている場合、パーク先エンドポイントは、被パーク呼の呼番号を用いたファシリティメッセージに設定した**pickup** Invoke APDUを被パークエンドポイントへ送信し、CpickupRemoteRequested状態へ遷移し、タイマT9をスタートしなければならない。

被パークエンドポイントから**pickup** Return Result APDUを受信すると、パーク先エンドポイントは、ピックアップ元エンドポイントへ**pickrequ** Return Result APDUを送信し、タイマT9をストップし、CpickupIdle状態へ遷移しなければならない。

被パークエンドポイントから解放完了を受信すると、呼解放を継続し、タイマT3をストップし、CP-Idle状態へ遷移しなければならない。

被パークエンドポイントから、**pickup** Return Errorあるいは、Reject APDUを受信すると、パーク先エンドポイントは、**pickrequ** Return Error APDUを、ピックアップ元エンドポイントへ送信し、タイマT9をストップし、CP-WaitforPickup状態へ遷移しなければならない。

7.4 発信エンドポイントでの動作（呼出呼のSS - PICKUP）

（呼出呼にとってローカルなユーザによる）SS-PICKUP

呼出メッセージを受信すると遷移するJT-H225.0呼制御状態call delivered（U4）の間に、発信エンドポイントは、呼出エンドポイントから応答メッセージに設定された**pickup** Invoke APDUを受信してもよい。サポートされ、許容されている場合、発信エンドポイントは、呼出エンドポイントへ、ファシリティメッセージに設定した**pickup** Return Result APDUを返信しなければならない。

呼出呼の一部としてすでに利用可能な場合、JT-H245コネクション、論理チャンネルを保持してもよい。あるいは、標準のJT-H323手順を、JT-H245コネクション、論理チャンネル確立のために用いなければならない。

発信エンドポイントがSS-PICKUP要求を受け入れることができない場合、解放完了メッセージに設定したpickup Return Error APDUあるいは、Reject APDUを呼出エンドポイントへ返信しなければならない。

(呼出エンドポイントにとってリモートなユーザによる) SS-PICKUP

呼出メッセージを受信すると遷移するJT-H225.0呼制御状態call delivered (U4)の間に、発信エンドポイントは、ピックアップ元エンドポイントへ呼を再確立するように要求する、ピックアップ元エンドポイントからのファシリティメッセージに設定されたpickup Invoke APDUを受信してもよい。サポートされ、許容されている場合、発信エンドポイントは、ピックアップ元エンドポイントへ、pickup Return Result APDUを返信しなければならない。あるいは、pickup Return Error APDUあるいは、Reject APDUをピックアップ元エンドポイントへ返信しなければならない。

SS-PICKUPがこの呼に対して許容され、可能である場合、発信エンドポイントは、(呼設定メッセージを送信して、)pickExe Invoke APDUを含む呼確立をピックアップ元ユーザに対して、開始しなければならない。情報要素callPickupId, picking-upNumber, partyToRetrieveは、ピックアップ元エンドポイントから受信したpickup Invoke APDUから取り出さなければならない。タイマT10をスタートし、CpickupSetupInit状態へ遷移しなければならない。

発信エンドポイントは、CpickupSetupInit状態の間に、ピックアップ元エンドポイントから応答メッセージに設定されたpickExe Return Result APDUを受信すると、タイマT10をストップし、CpickupIdle状態へ遷移しなければならない。発信エンドポイントは、呼出エンドポイントへの呼出呼を解放しなければならない。以後の呼確立(JT-H245コネクション、論理チャネル)は、標準JT-H323手順に従わなければならない。

ピックアップ元エンドポイントから、pickExe Return Error APDUあるいは、Reject APDUを受信すると、発信エンドポイントは、タイマT10をストップし、(まだ、解放されていない場合、)ピックアップ元エンドポイントへの接続を解放し、CpickupIdle状態へ遷移しなければならない。

7.5 呼出エンドポイントでの動作(呼出呼のSS-PICKUP)

着信ユーザを呼び出す着信呼を受信し、(呼出メッセージが、発信エンドポイントへ送り返され、)かつ、この呼に対してSS-PICKUPが可能である場合、呼出ユーザでは、WaitforPickup状態へ遷移しなければならない。

ピックアップ元ユーザが呼出エンドポイントにおいてローカルな場合(呼出エンドポイントがピックアップ元エンドポイントに等しい場合)

WaitforPickup状態の間に、ピックアップ元ユーザがSS-PICKUP要求を受信すると、ピックアップ元エンドポイントは、ピックアップ元ユーザが、呼出呼を復旧することを許容されているかどうかをチェックしなければならない。許容されている場合、ピックアップ元エンドポイントは、呼出呼の呼番号を用いて、応答メッセージに設定したpickup Invoke APDUを発信エンドポイントへ送信しなければならない。ピックアップ元エンドポイントは、CpickupRequested状態に遷移し、タイマT6をスタートしなければならない。

ピックアップが受け入れられると、発信エンドポイントは、ファシリティメッセージに設定したpickup Return Result APDUをピックアップ元エンドポイントへ送信しなければならない。これによって、ピックアップ元エンドポイントは、CpickupIdle状態へ遷移し、タイマT6をストップしなければならない。

JT-H245コネクション、論理チャネルの確立は、まだ確立されていない場合、標準のJT-H323手順に準拠しなければならない。

CpickupRequested状態で、ピックアップ元エンドポイントが、発信エンドポイントから受信した解放完了メッセージに設定されたpickup Return Error APDUあるいは、Reject APDUを受信すると、タイマT6をストップし、CpickupIdle状態へ遷移しなければならない。CpickupRequested状態で、解放完了以外のメッセージ（例えば、ファシリティ）に設定されたpickup Return Errorあるいは、Reject APDUを受信すると、呼出エンドポイントは、（すなわち、発信エンドポイントへ解放完了メッセージを送信して、）被パーク呼を解放し、タイマT6をストップし、CpickupIdle状態へ遷移しなければならない。タイマT6がタイムアウトすると、発信エンドポイントへ解放完了メッセージを送信し、状態をCpickupIdleへ戻さなければならない。

ピックアップ元ユーザが呼出エンドポイントにとってリモートな場合（呼出エンドポイントとピックアップ元エンドポイントが異なる場合）

呼出エンドポイントが、WaitforPickup状態で、ピックアップ元エンドポイントからpickrequ Invoke APDUを受信し、（ローカルにみれば、）この呼に対して、SS-PICKUPが許容されている場合、呼出エンドポイントは、呼出呼の呼番号を用いたファシリティメッセージに設定したpickup Invoke APDUを発信エンドポイントへ送信し、CpickupRemoteRequested状態へ遷移し、タイマT9をスタートしなければならない。

発信エンドポイントからpickup Return Result APDUを受信すると、呼出エンドポイントは、pickrequ Return Result APDUをピックアップ元エンドポイントへ送信し、タイマT9をストップし、CpickupIdle状態へ遷移しなければならない。

発信エンドポイントからpickup Return Errorあるいは、Reject APDUを受信すると、呼出エンドポイントは、ピックアップ元エンドポイントへ、pickrequ Return Error APDUを送信し、タイマT9をストップし、WaitforPickup状態へ遷移しなければならない。

7.6 サービス対象エンドポイントでの動作

呼がピックアップできる状態にあることをピックアップグループメンバに通知するために、CP-WaitforPickup状態に遷移したパーク先エンドポイント、あるいは、呼出エンドポイントのいずれかからグループ通知を送信してもよい。オプションとして、GKは、呼出呼のために、SS-PICKUPのためのグループ通知を送信してもよい。（図10/JT-H450.5参照）

呼出中の着信呼を受信（発信エンドポイントへ呼出メッセージを返信）すると、あるいは、被パーク呼の受信に成功（CP-WaitforPickup状態へ遷移）すると、サービス対象エンドポイントは、新しい呼非依存のシグナリングコネクションを初期化するか、そのエンドポイントにすでに確立された呼非依存のシグナリングコネクションを用いるかによって、それぞれのピックアップグループメンバへ、（新しい呼に対しては）呼設定メッセージに、あるいは、（既存の呼に対しては）ファシリティメッセージに、groupIndicationOn Invoke APDUを設定して送信してもよい。新しい呼非依存のシグナリングコネクションを初期化する場合、標準JT-H450.1に規定された手順に準拠して確立されなければならない。

groupIndicationOn Invoke APDUは次の情報要素を含まなければならない。

- callPickupId（その値は、被パーク／呼出呼のJT-H225.0のCallIdentifier情報要素から取り出される）
- retrieveCallType（ピックアップされる呼が呼出呼か、被パーク呼か）
- partyToRetrieve（被パークユーザ、あるいは、発信ユーザ）
- retrieveAddress（サービス対象（パーク先／呼出）エンドポイントのアドレス）
- parkPosition（利用できるならば、被パーク呼のSS-PICKUPのため）

groupIndicationOn Invoke APDUを送信すると、サービス対象エンドポイントは、GP-NotifyOnRequ状態へ遷移し、タイマT4をスタートしなければならない。**groupIndicaitionOn** Return Result,Return Errorあるいは、Reject APDUを受信すると、サービス対象エンドポイントは、タイマT4をストップし、GP-Idle状態へ戻らなければならない。

注

groupIndicationOn Invoke APDUをピックアップグループのいくつかのメンバへ送信してもよい。サービス対象エンドポイントは、**groupIndicationOn** Invoke APDUを送信することに（すなわち、GP-NotifyOnRequ状態とタイマT4が呼ごとに管理される場合）、GP-NotifyOnRequ状態へ遷移し、タイマT4をスタートしなければならない。

タイマT4のタイムアウトは、Reject APDUの受信と同様に処理されなければならない。

サービス対象エンドポイントは、（まだ、ピックアップグループメンバエンドポイントによって解放されていない場合、）それぞれのピックアップグループメンバエンドポイントへの呼非依存シグナリングコネクションを解放する責任がある。これは、Return Result, Return Error, Reject APDU受信時、あるいは、タイマT4のタイムアウト時に起こりうる。あるいは、シグナリングコネクションを保持してもよい。（例えば、後述する**groupIndicationOff** Invoke APDUシグナリングのため）

被パーク呼/呼出呼が、ピックアップ元ユーザによるピックアップに成功した場合、サービス対象エンドポイントは、新しい呼非依存シグナリングコネクションを初期化するか、エンドポイントへすでに確立された呼非依存コネクションを用いることにより、ピックアップグループメンバエンドポイントのそれぞれに、（新しい呼に対しては、）呼設定メッセージに、（既存の呼に対しては、）ファシリティメッセージに、**groupIndicationOff** Invoke APDUを設定して、送信しなければならない。新しい呼非依存シグナリングコネクションを初期化する場合、標準JT-H450.1に規定された手順に準拠して確立しなければならない。

groupIndicationOff Invoke APDUを送信する時、サービス対象エンドポイントは、GP-NotifyOffRequ状態に遷移し、タイマT5をスタートしなければならない。**groupIndicationOff** Return Result, Return Errorあるいは、Reject APDUを受信すると、サービス対象エンドポイントは、タイマT5をストップし、GP-Idle状態へ戻らなければならない。

タイマT5のタイムアウトは、Reject APDUの受信と同様に処理されなければならない。

サービス対象エンドポイントは、（ピックアップグループメンバエンドポイントによって、まだ解放されていない場合）それぞれのピックアップグループメンバエンドポイントへの呼非依存シグナリングコネクションを解放する責任がある。これは、Return Result, Return Error, Reject APDU受信時、あるいは、タイマT5のタイムアウト時に起こりうる。あるいは、シグナリングコネクションを保持してもよい。

7.7 ピックアップグループメンバエンドポイントでの動作

呼非依存シグナリングコネクション上の呼設定メッセージあるいは、ファシリティメッセージに設定された**groupIndicationOn** Invoke APDUを受信すると、ピックアップグループメンバエンドポイントは、（情報要素groupMemberUserNrをチェックし、）グループメンバユーザにとって、グループ通知がサポートされ、可能となっているかを確認しなければならない。

グループメンバ通知要求が受け入れられると、ピックアップグループメンバエンドポイントは、ピックアップすることのできる呼があることをグループメンバユーザへ通知し、ファシリティ、解放完了あるいは、応答メッセージに設定して送信される**groupIndicationOn** Return Result APDUにより、**groupIndicationOn** Invoke APDUに応答し、SS-PICKUPで後に用いられる可能性のある受信した情報要素を保存しなければならない。

groupIndicationOn Invoke APDUが受け入れられないと、ファシリティ、解放完了あるいは、応答メッセージに設定して、**groupIndicationOn** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを返信しなければならない。

呼非依存シグナリングコネクション上の呼設定あるいは、ファシリティメッセージに設定された **groupIndicationOff** Invoke APDUを受信すると、ピックアップグループメンバエンドポイントは、要求の正当性をチェックしなければならない。

groupIndicationOff requestが正当である場合、ピックアップグループメンバエンドポイントは、グループメンバユーザへの呼のピックアップの提示を停止し、ファシリティ、解放完了、応答メッセージに設定した**groupIndicationOff** Return Result APDUをサービス対象エンドポイントへ返信しなければならない。

groupIndicationOff Invoke APDUが受け入れられないと、ファシリティ、解放完了、応答メッセージに設定した**groupIndicationOff** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを返信しなければならない。

7.8 ピックアップ元エンドポイントでの動作

ピックアップ元ユーザがパーク先/呼出エンドポイントにとってローカルな場合

7.3項パーク先エンドポイントでの動作、7.5項呼出エンドポイントでの動作参照

ピックアップ元ユーザが、パーク先/呼出エンドポイントにとってリモートな場合

ピックアップ元ユーザからSS-PICKUP要求を受信すると、ピックアップ元エンドポイントは、ピックアップ元ユーザが、被パーク呼/呼出呼をピックアップすることが許容されているかどうかをチェックしなければならない。この呼に対して、SS-PICKUPが許容されていると、ピックアップ元エンドポイントは、新しい呼非依存シグナリングコネクションを確立するか、パーク先/呼出エンドポイントへ既に確立されている呼非依存シグナリングコネクションを用いるかにより、（新しい呼に対しては、）呼設定メッセージに、（既存呼に対しては、）ファシリティメッセージに**pickrequ** Invoke APDUを設定して、パーク先/呼出エンドポイントへ送信し、CpickupRemoteReq状態へ遷移し、タイマT7をスタートしなければならない。

新しい呼非依存シグナリングコネクションを初期化する場合、標準JT-H450.1に規定された手順に準拠してシグナリングコネクションを確立しなければならない。

ファシリティメッセージに設定された**pickrequ** Return Result APDUを受信すると、ピックアップ元エンドポイントは、CpickupWaitSetup状態へ遷移し、タイマT7をストップし、タイマT8をスタートしなければならない。

CpickupRemoteReq状態の間に、ファシリティメッセージに設定された**pickrequ** Return Errorあるいは、Reject APDUを受信すると、ピックアップ元エンドポイントは、タイマT7をストップし、CpickupIdle状態へ戻らなければならない。タイマT7のタイムアウトは、Reject APDU受信と同様に処理されなければならない。

ピックアップ元エンドポイントは、パーク先/呼出エンドポイントへの呼非依存シグナリングコネクションを解放する責任がある。これは、Return Result、Return Error、Reject APDUの受信時、タイマT7のタイムアウト時に起こりうる。あるいは、シグナリングコネクションを保持してもよい。

ピックアップ元エンドポイントは、CpickupWaitSetup状態の間に、発信エンドポイントからの**pickExe** Invoke APDUを含む呼設定メッセージを受信すると、このメッセージが正当であるか、未解決のSS-PICKUP要求に関連しているかどうかチェックする。この関連は、受信した**pickExe** Invoke APDUのcallPickupIdの値と、以前に受信し、同じ呼に関連づけられた**pickrequ** Return Result APDUのcallPickupIdの値とが一致しているかどうかによってチェックされなければならない。

受け入れることができる場合、応答メッセージに設定して、**pickExe** Return Result APDUを返信し、タイマT8をストップし、CpickupIdle状態へ遷移しなければならない。

JT-H245コネクション、論理チャネルの確立は、標準JT-H323手順に準拠しなければならない。被パーク呼/呼出呼のためにオープンされたメディア種別を、できる限り、被ピックアップ呼のためにオープンしなければならない。

pickExe Invoke APDUが受け入れられない場合、解放完了メッセージに設定して、適当な理由値を持つ**pickExe** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを返信しなければならない。タイマT8をストップし、CpickupIdle状態へ遷移しなければならない。

7.9 別手順

7.9.1 ローカルSS-PARKとローカルパークからのピックアップ

以前の章の中でSS-PARKのために記述された手順は、再経路指定の手順に基づいている。すなわち、被パークエンドポイントは、パーク先エンドポイントへ、新しい呼（被パーク呼）を確立する。パーク元エンドポイントがパーク先エンドポイントである場合、これらの手順も用いることができる。しかしながら、手順を単純化するために、パーク元エンドポイントがパーク先エンドポイントと同じ（ローカルパーク）場合、次の手順を適用することができる。

JT-H225.0呼制御状態がactiveである間に、ローカルパーク元ユーザからSS-PARK要求を受信すると、パーク元エンドポイントは、被パークエンドポイントへファシリティメッセージに、**cpNotify** Invoke APDUを設定して送信し、CP-NotifiedWaitforPickup状態へ遷移し、タイマT3をスタートしてもよい。

音楽、アナウンス、ビデオクリップ、あるいは、静止画を被パークユーザへ供給してもよい。すなわち、パーク元エンドポイントは、この呼に対して、パーク先エンドポイントとして動作する。

被パークエンドポイントは、被パークユーザへ、**cpNotify** Invoke APDUの中に受信された情報を提供してもよい。また、受信した論理チャンネルへ接続しなければならない。

ピックアップグループメンバが、被パーク呼について通知されることになる場合、パーク元/パーク先エンドポイントは、グループメンバ通知のために、サービス対象エンドポイントとして動作してもよい。（7.6項参照）

ローカルパークからのSS-PICKUP

CP-NotifiedWaitforPickup状態の間、許容されたピックアップ元ユーザは、被パーク呼をピックアップしてもよい。ピックアップ元ユーザは、パーク先エンドポイントにとって、ローカルな権限のあるユーザ（すなわち、パーク元ユーザ）であってもよいし、あるいは、リモートな権限のあるユーザであってもよい。

CP-NotifiedWaitforPickup状態の間に、ローカルピックアップ要求を受信し、SS-PICKUPが許容されている場合、ファシリティメッセージに設定した**cppickupNotify** Invoke APDUを被パークエンドポイントへ送信しなければならない。

CP-NotifiedWaitforPickup状態で、リモートピックアップ元ユーザから、呼非依存シグナリングコネクションを初期化する呼設定メッセージに設定された**pickrequ** Invoke APDUを受信すると、パーク先エンドポイントは、ピックアップ元ユーザが、その呼をピックアップする権限があるかどうかをチェックしなければならない。ピックアップ元ユーザに権限がある場合、パーク先エンドポイントは、**pickExe** Invoke APDUを含む呼設定メッセージを送信し、ピックアップ元エンドポイントへの呼を確立し、その後、応答メッセージに設定された**pickExe** Return Result APDUを受信するか、解放完了メッセージに設定された**pickExe** Return Error APDUあるいは、Reject APDUを受信しなければならない。

応答メッセージに設定された**pickExe** Return Result APDUを、ピックアップ元ユーザから受信すると、パーク先エンドポイントは、被パークユーザへファシリティメッセージに設定して、**cppickupNotify** Invoke APDUを送信しなければならない。

パーク先エンドポイントは、パーク先エンドポイントと被パークエンドポイント間の既存の論理チャンネルをクローズするために、また、被パークエンドポイントとピックアップ元エンドポイント間の論理チャンネルをオープンするために、JT-H323 8.4.6節に記された「第三者による中断と再経路指定」手順を用いなければならない。

この7.9項に記述されたシナリオの図解については、図12/JT-H450.5も参照。

8 相互接続

8.1 回線交換網との相互接続

SS-PARKとSS-PICKUPは、ゲートウェイ相互接続機能により、他の標準に規定されているパークとピックアップに対応する付加サービスと相互接続してもよい。詳細なゲートウェイ相互接続手順の様子は、この標準の範囲外であり、他の標準に仕様が示される。

8.2 他の付加サービスとの相互接続

8.2.1 着信転送 (JT-H450.3)

被着信転送呼は、SS-PICKUPに準拠してもよい。

8.2.2 保留 (JT-H450.4)

被保留ユーザあるいは、保留元（サービス対象）ユーザが、被保留呼に対して、SS-PARKを要求すると、ローカルには、SS-PARK要求を拒否しなければならない。

被保留ユーザは、呼を復旧するためにSS-PICKUPを用いてもよい。SS-PICKUPは、被保留呼を復旧するために用いることはできず、SS-PICKUPは、呼出呼に応答する、あるいは、被パーク呼を復旧するためにのみ用いることができる。

8.2.3 コールウェイティング (JT-H450.6)

ユーザは、ウェイティング呼を受け入れるために、SS-PARKを起動してもよい。ウェイティング呼は、SS-PICKUPに準拠してもよい。提供される場合、サービス対象エンドポイントは、SS-Call Waitingの一部として、7.5項呼出エンドポイントでの動作、7.6項サービス対象エンドポイントでの動作に規定された手順に準拠して動作してもよい。

8.2.4 JT-H323会議

MCUアプリケーションは、会議のメンバのために、SS-PARKを要求してもよい。集中型会議のメンバが、集中型会議をパークするために、SS-PARKを起動することを許してはならない。

アクティブMCを含む非集中型JT-H323会議のメンバは、会議メンバに対して、SS-PARKを起動してもよい。

アクティブMCを含まない非集中型JT-H323会議のメンバは、会議メンバに対して、SS-PARKを起動しなくてもよい。

8.2.5 転送 (JT-H450.2)

CP-WaitforPickup状態の間に、パーク先エンドポイントが、**callTransferComplete** Invoke APDUを受信すると、引数redirectionNumberに含まれた別名アドレスは、新しい被パークエンドポイントの別名アドレスとして解釈すべきである。

注

このタイプの付加サービス相互動作は、例えば、エンドポイントAが、パーク先エンドポイントCに自身をパーク（すなわち、パーク元エンドポイントが、被パークエンドポイントと同じ場合）し、続いて、エンドポイントAが、エンドポイントBへの呼（例えば、以前に保留された呼）をパーク先エンドポイントCへの呼に転送（結合）することにより、コールパーク付加サービスが実装されているような他のネットワークとの相互接続の場合に、適用してもよい。

8.3 JT-H225.0パラメータとの相互動作

被パーク呼内のJT-H225.0 CallIdentifier値は、第1呼で用いられたCallIdentifierに設定しなければならない。本標準に規定されているSS-PARKあるいは、SS-PICKUP関連のAPDUを載せるその他すべての呼設定メッセージに対しては、新しいCallIdentifierを用いなければならない。被パーク/呼出呼のCallIdentifier値を、SS-PARK / SS-PICKUP手順の間に、JT-H450 APDU内に保存することに注意しなければならない。

JT-H225.0 ConferenceIdentifier値は、SS-PARK、SS-PICKUP手順の間に保存されない。

すなわち、SS-PARK、SS-PICKUP手順の一部として、新規呼設定メッセージには新しい値が割り当てられる。

9 ゲートキーバ動作

9.1 正常手順

GKが経路指定するモデルでは、GKは、この標準の11章で規定されているSS-PARK、SS-PICKUPオペレーションを透過的に伝送すべきである。

9.2 呼出呼のSS-PICKUPのための代替GK手順

9.2.1 呼出エンドポイントがSS-PICKUPをサポートしていない場合

呼出エンドポイントが、SS-PICKUP手順をサポートしていない場合でも、呼出呼のためのSS-PICKUPを可能にするために、次の手順を適用してもよい。（GKが経路指定するモデルについてのみ）

呼出エンドポイントが、7.5項 "呼出エンドポイントでの動作" に規定された手順をサポートしていない場合の呼出呼のSS-PICKUPに対して、GKは、呼出エンドポイント、サービス対象エンドポイントのために動作してもよい。このシナリオについて、GKは以下の動作を行ってもよい。

- ・ピックアップグループメンバ通知のために、7.6項 "サービス対象エンドポイントでの動作" に規定された手順を行う。
- ・下記を含む、7.5項 "呼出エンドポイントでの動作" に規定されたSS-PICKUP動作を行う。
 - ・ピックアップ元エンドポイントから呼設定メッセージに設定されたpickrequ Invoke APDUを受信すること。
 - ・発信エンドポイントへファシリティメッセージに設定したpickup Invoke APDUを送信すること。
 - ・発信エンドポイントからファシリティメッセージに設定されたpickup Invoke APDUへの応答を受信すること。
 - ・ピックアップ元エンドポイントへファシリティメッセージに設定したpickrequ Invoke APDUへの応答を送信すること。

- ・ (SS-PICKUP成功の場合、) 発信エンドポイントから解放完了メッセージを受信し、呼出呼への呼解放を継続すること。

この代替手順の説明に対しては、図10/JT-H450.5も参照。

9.2.2 発信エンドポイントと呼出エンドポイントが、SS-PICKUPをサポートしていない場合

発信エンドポイントも、呼出エンドポイントもSS-PICKUP手順をサポートしていない場合も、呼出呼のSS-PICKUPを可能にするために、次の手順をGKに適用してもよい。(GKが経路指定するモデルにおいてのみ)

このシナリオをサポートするために、GKは以下を行う。

- ・ピックアップグループメンバ通知に対して、"サービス対象エンドポイント"のために規定された動作をサポートしてもよい。(7.6項参照)
- ・下記を含む、呼出エンドポイントのために規定された修正動作をサポートしなければならない。(7.5項参照)
 - ・ピックアップ元エンドポイントから呼設定メッセージに設定されたpickrequ Invoke APDUを受信すること。
 - ・ピックアップ元エンドポイントへファシリティメッセージに設定したpickrequ Invoke APDUへの応答を送信すること。
- ・下記を含む、発信エンドポイントに対して規定された修正手順をサポートしなければならない。(7.5項参照)
 - ・ピックアップ元エンドポイントへpickExe Invoke APDUを設定した呼設定メッセージを送信すること。
 - ・ピックアップ元エンドポイントから応答メッセージ、あるいは、解放完了メッセージに設定されたpickExe Invoke APDUへの応答を受信すること。
 - ・下記を含む、標準JT-H323 8.4.6節に準拠した「第三者による中断と再経路指定」手順を行うこと。
 - ・「空の」terminalCapabilitySetメッセージを送信し、発信エンドポイントAと、着信エンドポイントBに論理チャネルをクローズさせること。(論理チャネルがオープンしている場合)
 - ・発信エンドポイントAとピックアップ元エンドポイントとの間で、端末通信能力セット交換、マスタ/スレーブ決定、論理チャネルオープンを行うこと。
- ・発信エンドポイントへ、オプションのCpickupNotify Invoke APDUを設定した応答メッセージを送信しなければならない。
- ・エンドポイントBへの呼解放を開始する。(endSessionコマンド、解放完了)

この代替手順の図解については、図11 / JT-H450.5も参照。

9.2.3 ゲートキーパでの呼出呼のグループピックアップ

呼出エンドポイントがSS-PICKUPをサポートするかどうかに関係なく、ゲートキーパ/プロキシは、この呼出呼に対して、ピックアップグループメンバ通知を提供するために、サービス対象エンドポイント(サービス対象エンティティ)として動作することを決定してもよい。この場合、呼出エンドポイントは、ピックアップグループメンバ通知(例えば、管理上の問題として、)を提供すべきではない。

ゲートキーパ/プロキシから送信される、引数 retrieveAddress を設定したオプションの **groupIndicationOn Invoke** APDUは、どこから呼出呼をピックアップすべきかをピックアップグループメンバへ通知する。(すなわち、呼出エンドポイント、あるいは、ゲートキーパ/プロキシから。)

ピックアップ元エンドポイントが、ゲートキーパ/プロキシから呼出呼をピックアップする場合、例えば、

- ・ **groupIndicationOn Invoke** APDU内に設定されている retrieveAddress によって、あるいは、
- ・ オプションのグループメンバ通知手順を全くサポートしないグループピックアップの実装のために(この場合、デフォルトで、SS-PICKUP要求は、あらかじめ決められたゲートキーパ/プロキシアドレスに経路指定される。)

9.2.1、9.2.2節内に規定された手順を適用してもよい。

9.3 被パーク呼のSS-PARK、SS-PICKUPのための代替GK手順

ゲートキーパは、サービスを行っているエンドポイントのために、SS-PARKのために定義されているメッセージを途中で捕らえ、それらについて動作してもよい。

ゲートキーパは、サービスを行っているエンドポイントのために、被パーク呼のSS-PICKUPのために定義されているメッセージを途中で捕らえ、それらについて動作してもよい。

論理チャネルのクローズ、再オープンが必要とされる場合、標準JT-H323 8.4.6節に定義されている「第三者による中断と再経路指定」のための手順を用いてもよい。

10 動作概要

10.1 操作モデルとシグナルフロー

10.1.1 SS-PARK

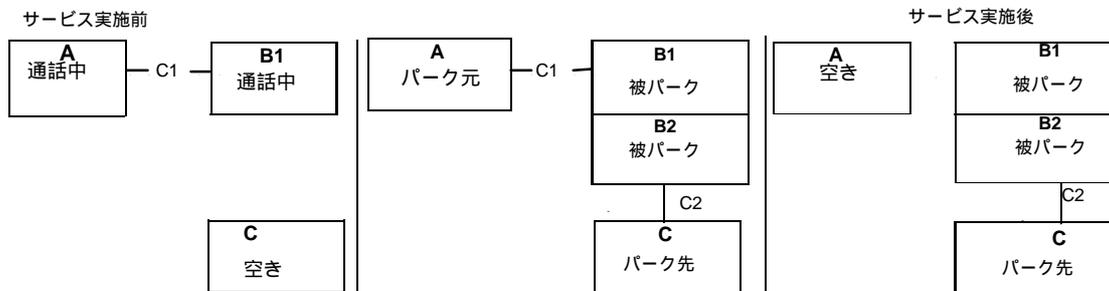


図1/JT-H450.5

SS-PARKの操作モデル

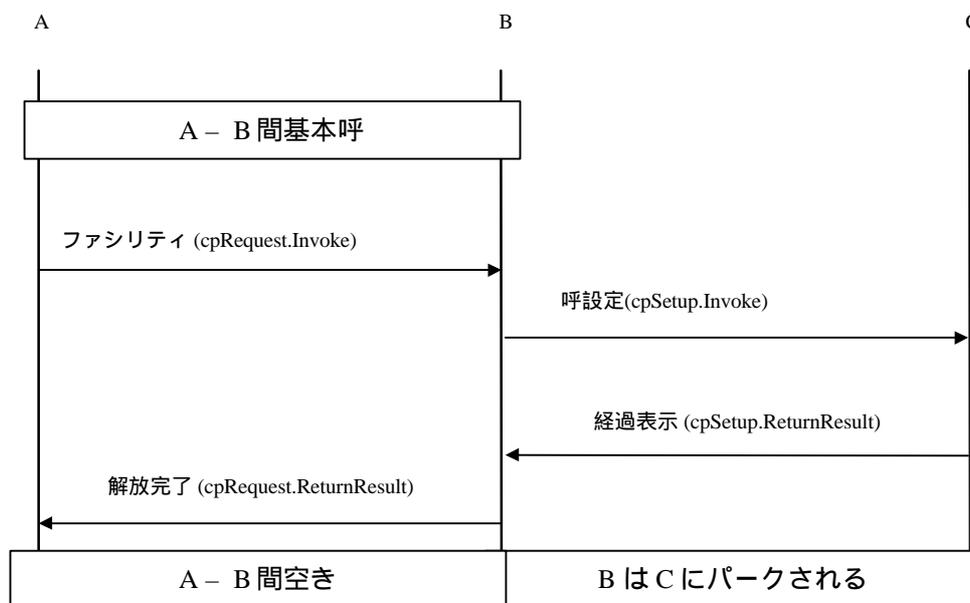


図2/JT-H450.5

SS-PARK のシグナリングフロー

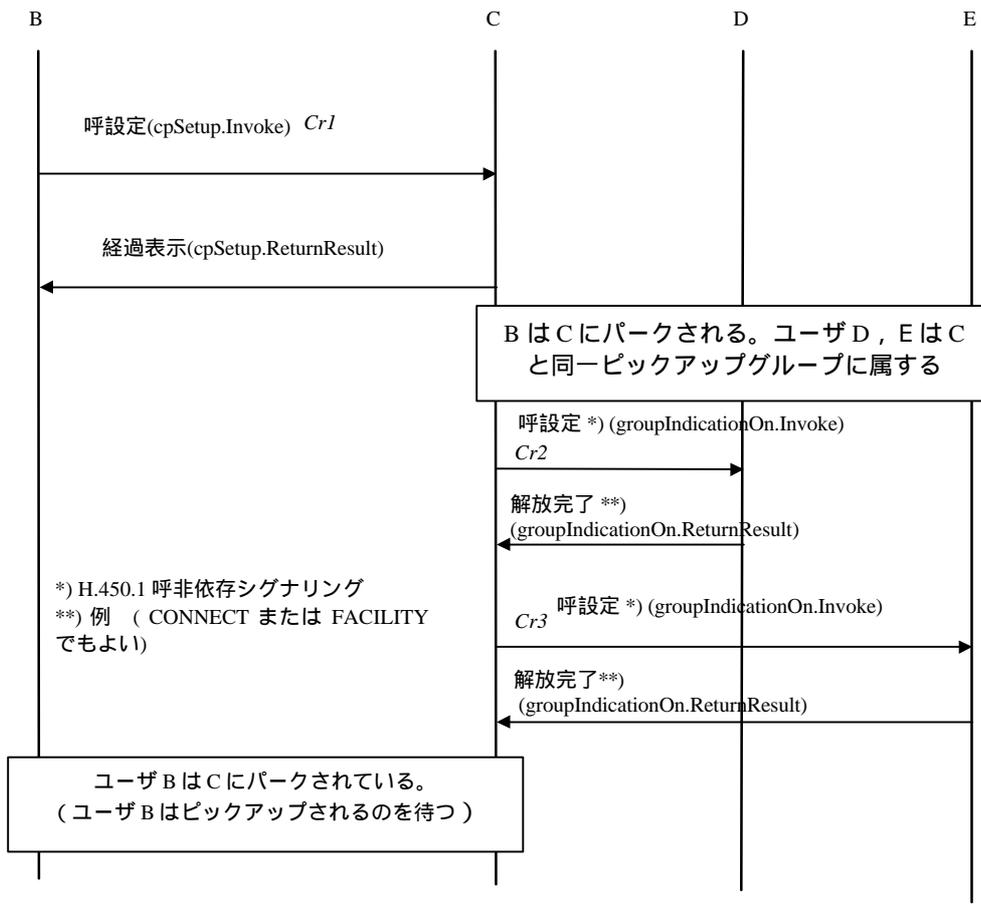
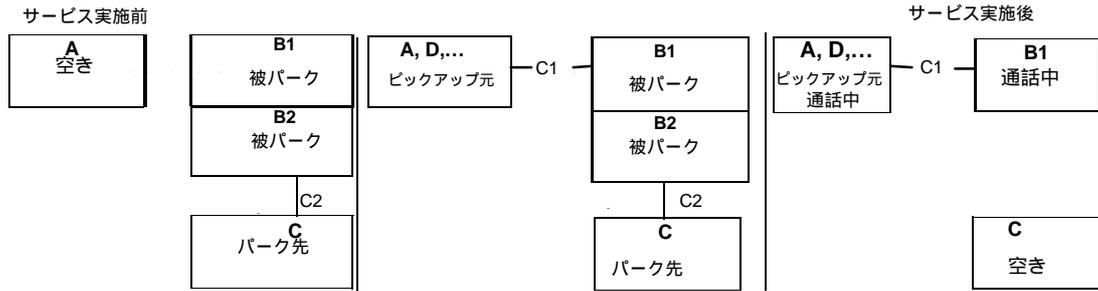


図3/JT-H450.5
SS-PARK のシグナリングフロー – グループメンバーに通知

10.1.2 被パーク呼のSS-PICKUP, パーク解除



SS-PICKUPの操作モデル

a) パーク先ユーザ Cによってパーク解除される被パーク呼



図5/JT-H450.5

SS-PICKUPのシグナリングフロー(パーク先ユーザによるパーク解除)

b) ユーザ D (パーク元ユーザ Aでもよい)によってパーク解除される被パーク呼

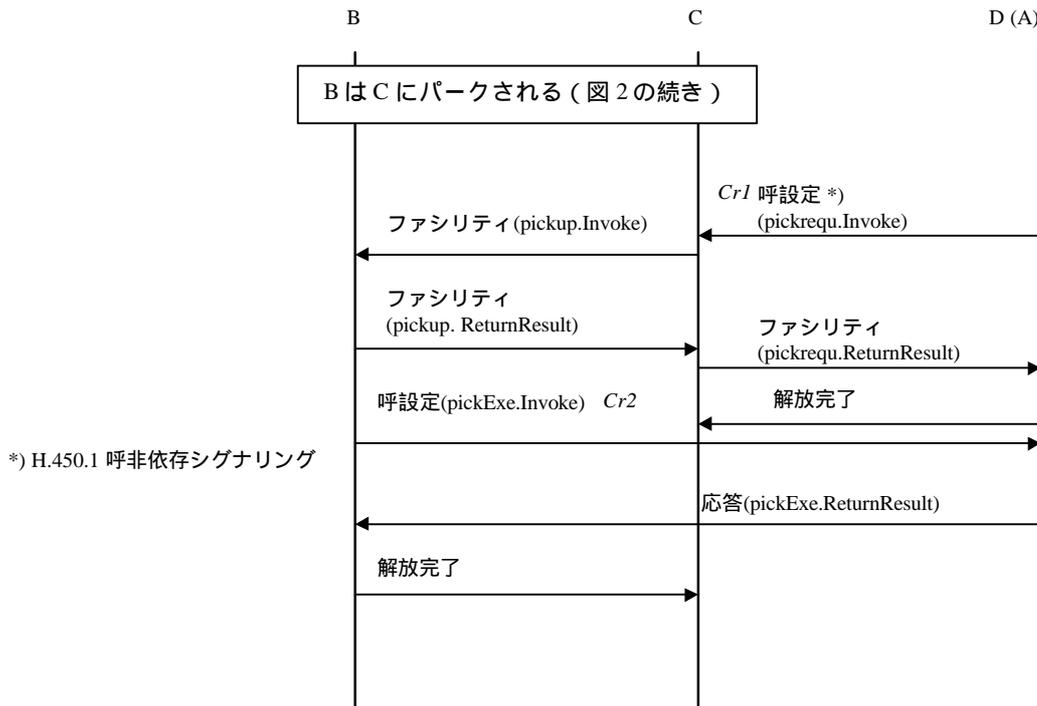


図6/JT-H450.5

SS-PICKUPのシグナリングフロー(任意のユーザによるパーク解除)

10.1.3 呼出呼のSS-PICKUP

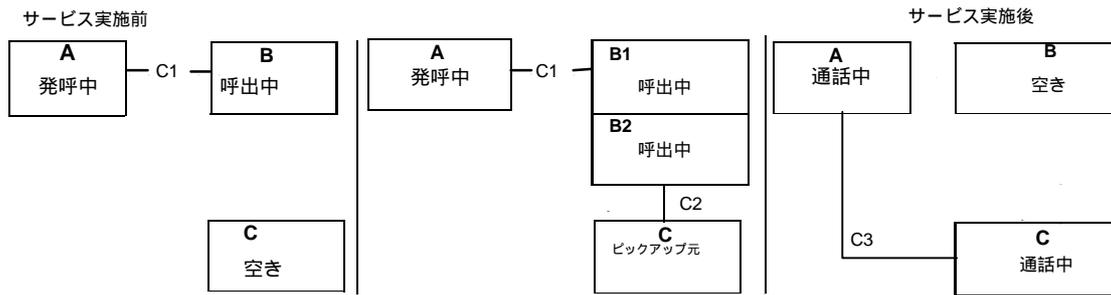


図7/JT-H450.5

SS-PICKUPの原則

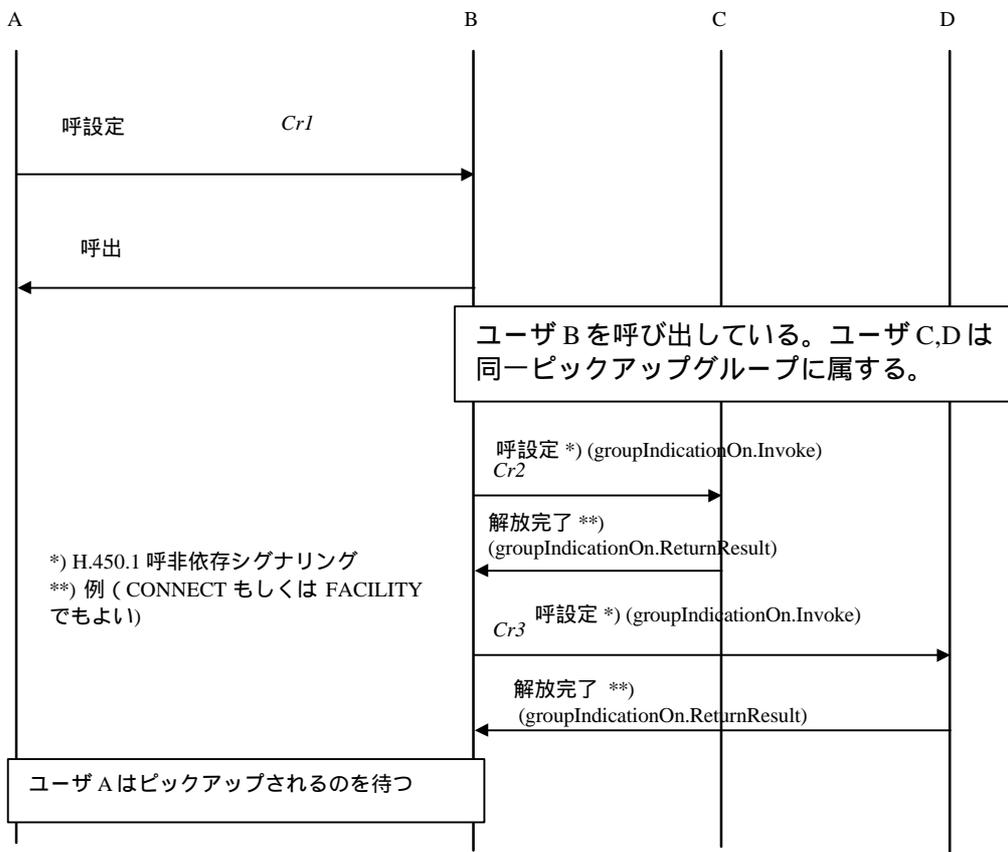


図8/JT-H450.5

SS-PICKUPのためにグループメンバーに通知する呼出呼のシグナリングフロー

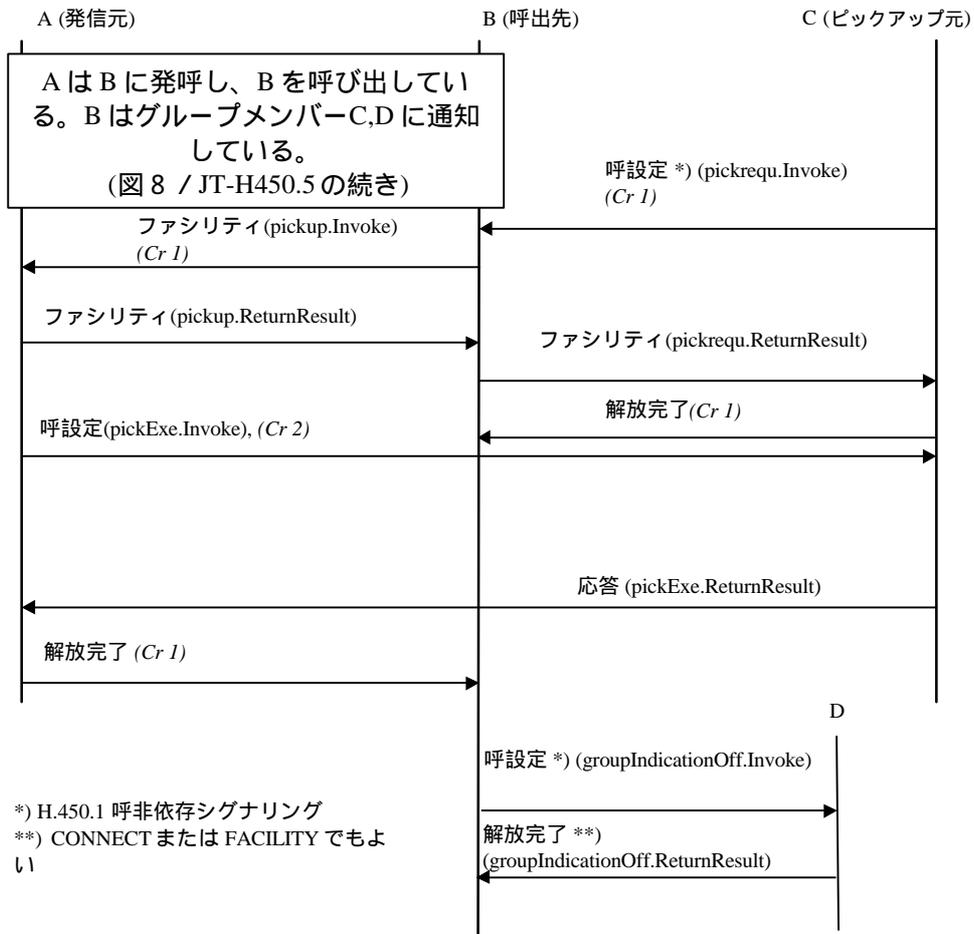
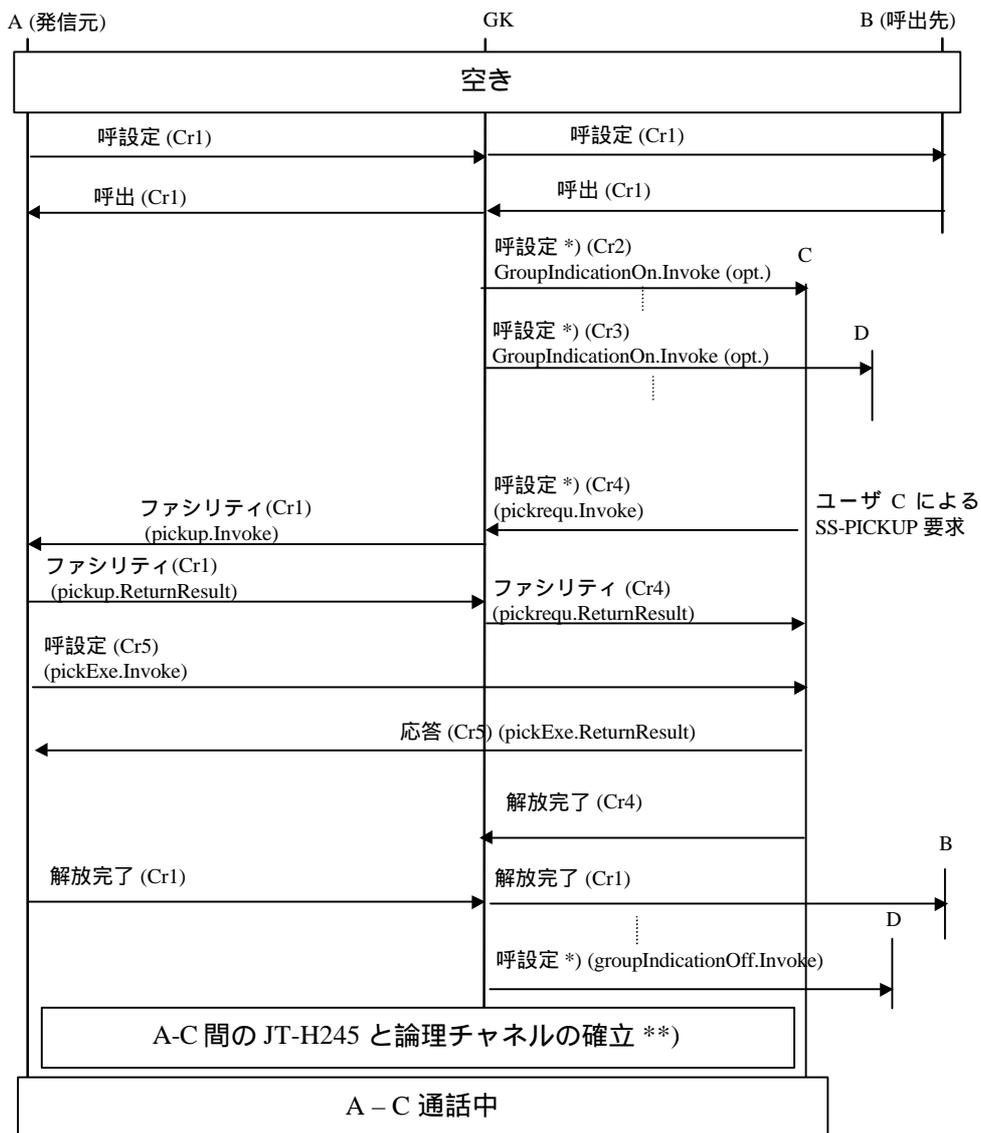


図9/JT-H450.5
SS-PICKUPのシグナリングフロー(呼出呼)



復旧アドレスとして明示的に GK のアドレスを示し、**groupIndicatonOn** Invoke APDU を送信している。このシナリオは、グループ通知なしの指定ピックアップに適用してもよい。例えば、ピックアップ元ユーザ (C) は、隣接の端末 (B) の呼出を認識し、ピックアップボタンを押す。結果的に、事前定義されたエンティティ (GK) への SS-PICKUP 起動を行ったことになる。記述については、節 9.2.1 も参照。

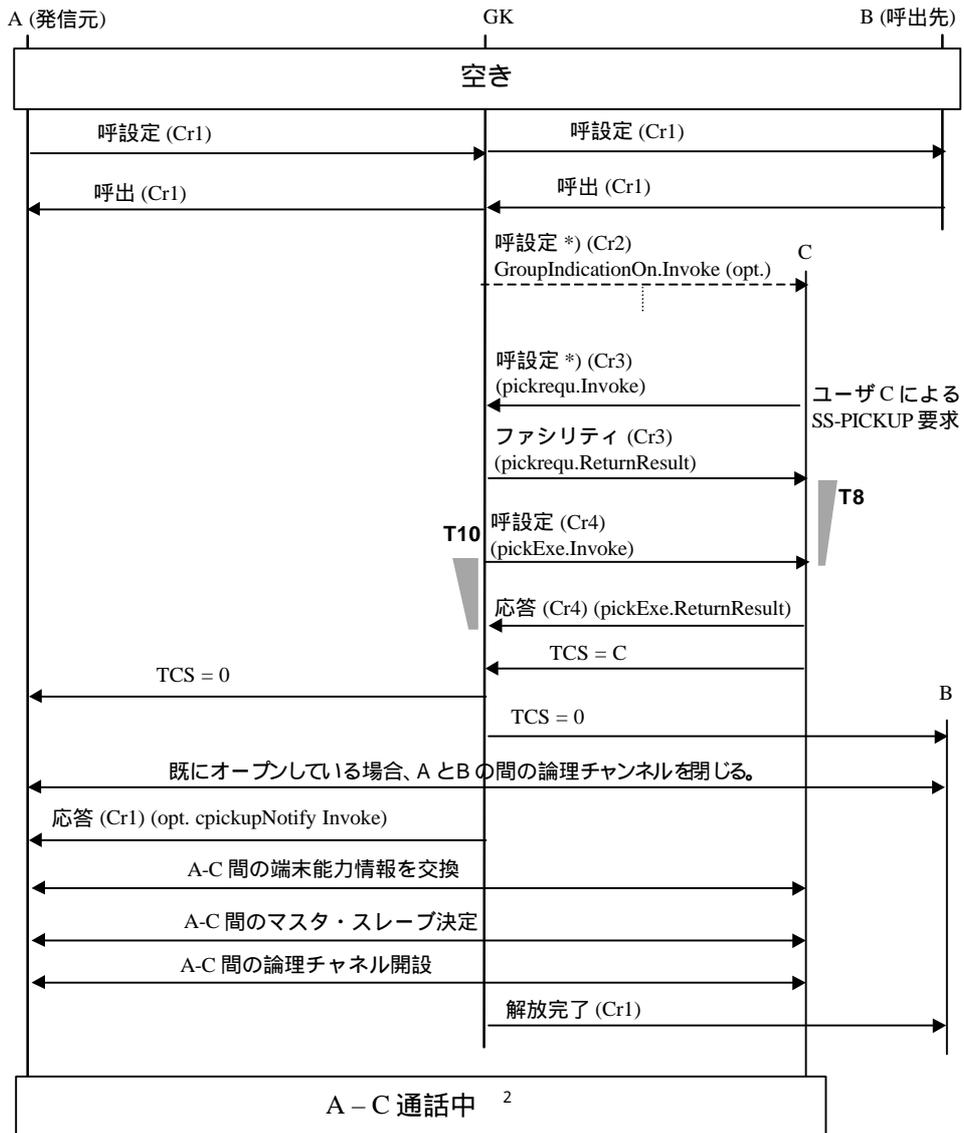
*) H.450.1 呼非依存シグナリング

***) fastConnect オプションの一部として以前に確立していない場合

図10/JT-H450.5

SS-PICKUPのシグナリングフロー

(呼出先エンドポイントがSS-PICKUPをサポートしない; ゲートキーパーでピックアップされる呼)



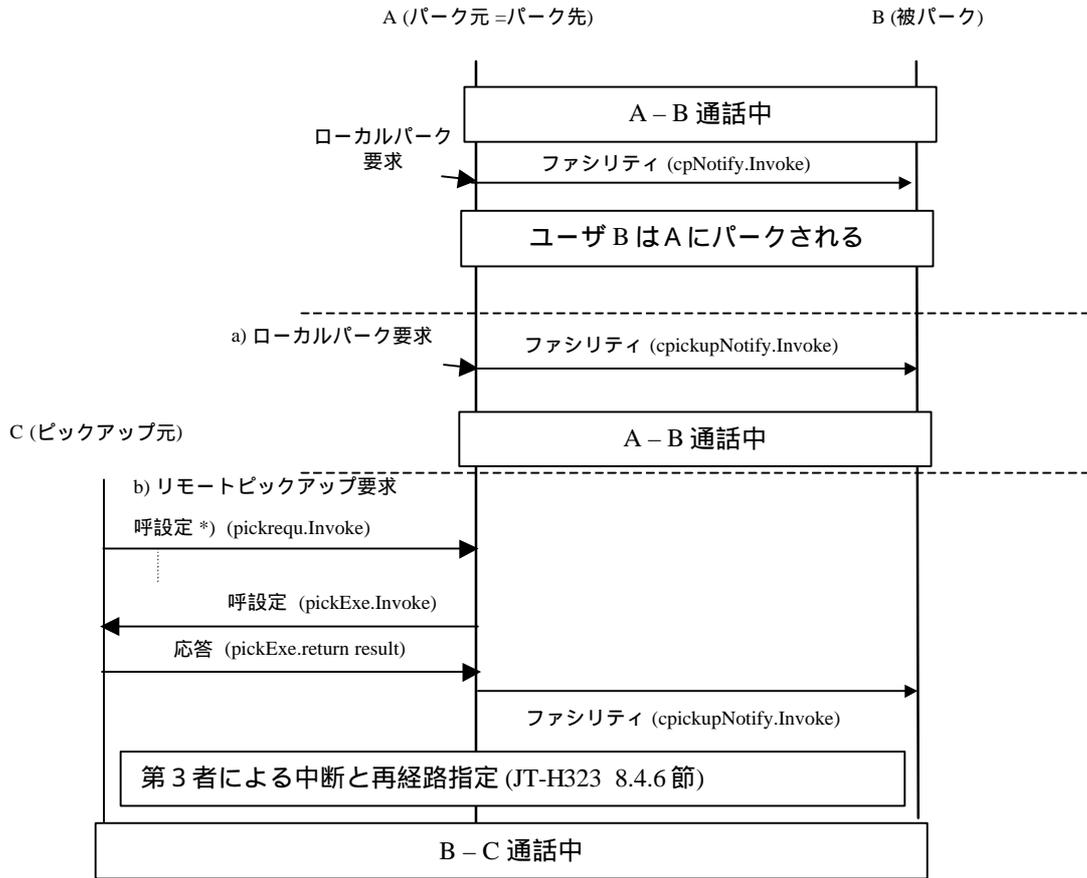
このシナリオの記述に関しては 9.2.2 節を参照。

*) H.450.1 呼非依存シグナリング

図11/JT-H450.5

SS-PICKUPのシグナリングフロー

(発信エンドポイントと呼出エンドポイントがSS-PICKUPをサポートしていない;
ゲートキーパーでのコールピックアップ)



*) H.450.1 呼非依存シグナリング
このシナリオの記述に関してはさらに 7.9 項を参照。

図12/JT-H450.5
ローカルSS-PARKとローカルパークからのピックアップ

10.2 シグナリングエンティティとそのシグナリングエンティティユーザ間の通信(プリミティブとパラメータ)

10.2.1 パーク元エンドポイント

10.2.1.1 プリミティブ一覧

表1/JT-H450.5

パーク元エンドポイントでのプリミティブ

一般名称	種別			
	要求(req)	表示(ind)	応答 (resp)	確認 (conf)
cpRequest	パラメータ	未定義	未定義	パラメータ
cpNotify	パラメータ	未定義	未定義	未定義
cpickupNotify	パラメータ	未定義	未定義	未定義
pickrequ	未定義	パラメータ	パラメータ	未定義
pickExe	パラメータ	未定義	未定義	- ¹⁾

注 1: "-"はパラメータなしを意味する。(製造者特有パラメータを適用してもよい)

10.2.1.2 プリミティブ定義

cpRequest.Requestプリミティブは、SS-PARKの起動を要求する為に使用される。

cpRequest.Confirmプリミティブは、SS-PARKの起動が成功または不成功であることを示す為に使用される。

cpNotify.Requestプリミティブは、ローカルでSS-PARKを起動する為に使用される。

cpickupNotify.Requestプリミティブは、ローカルのSS-PARKから通信の復旧を要求する為に使用される。

pickrequ.Indicationプリミティブは、ローカルのSS-PARKからのリモートのSS-PICKUP要求を示す為に使用してもよい。(図12/JT-H450.5参照)

pickrequ.Responseプリミティブは、ローカルでパークされた呼のリモートからのSS-PICKUP要求に答える為に使用してもよい。

pickExe.Requestプリミティブは、ローカルのSS-PARKからリモートのSS-PICKUPへの接続に使用してもよい。(図12/JT-H450.5)

pickExe.Comfirmプリミティブは、ローカルのSS-PARKからリモートのSS-PICKUPへの接続結果が成功もしくは不成功であることを示す為に使用してもよい。

10.2.1.3 パラメータ定義

cpRequest.Requestパラメータ:

parkingNumber: パーク元ユーザの別名

parkedNumber: 被パークユーザの別名

parkedToNumber: パーク先ユーザの別名

parkedToPosition: パーク先エンドポイントでのパーク先を明示的に識別する

extensionArg: 製造者特別情報用のプレースホルダ

cpRequestConfirm (ack とrejのパラメータ)

parkedToNumber: パーク先エンドポイントの別名

parkedToPosition: 呼がパークされたパーク先を示す

parkCondition: パーク先ユーザが無通信であるかビジーであるか、もしくは呼がグループに対してパークされたかどうかを示す。

extensonRes: 製造者特別情報用のプレースホルダ

notAvailable (_rej)

invalidCallState (_rej)

resourceUnavailable (_rej)

supplementaryServiceInteractionNotAllowed (_rej)

undefined (_rej)

cpNotify Request パラメータ

parkingNumber: パーク元番号の別名

extensionArg: 製造者特別情報用のプレースホルダ

cppickupNotify.Request パラメータ

piking-upNumber: ピックアップ元ユーザの別名

extensionArg: 製造者特別情報用のプレースホルダ

pickrequ Indicationパラメータ: 10.2.3.節の対応するプリミティブを参照

pickrequ.Response(ack and rej)パラメータ: 10.2.3.節の対応するプリミティブを参照

pickExe.Requestパラメータ: 10.2.2.節の対応するプリミティブを参照

pickExe.Confirm (ack and rej) パラメータ: 10.2.2.節の対応するプリミティブを参照

10.2.2 被パークエンドポイント

10.2.2.1 プリミティブ一覧

表 2/JT-H450.5

被パークエンドポイントでのプリミティブ

一般名称	種別			
	要求(req)	表示(ind)	応答(resp)	確認(conf)
cpRequest	未定義	パラメータ	パラメータ	未定義
cpSetup	パラメータ	未定義	未定義	パラメータ
pickup	未定義	パラメータ	- ¹⁾	未定義
pickExe	パラメータ	未定義	未定義	- ¹⁾
cpNotify	未定義	パラメータ	未定義	未定義
cppickupNotify	未定義	パラメータ	未定義	未定義

注 1: “ - ” はパラメータなしを意味する。(製造者特有パラメータを適用してもよい。)

10.2.2.2 プリミティブ定義

cpRequest.Indication プリミティブは、被パークユーザへのSS-PARKの要求を示す為に使用される。

cpRequest.Responseプリミティブは、cpRequest Return ResultまたはcpRequest Return Error APDUをパーク元エンドポイントへ送信することを要求する為に使用される。

cpSetup.Requestプリミティブは、被パーク呼の確立を始める為に使用される。

cpSetup.Confirmプリミティブは、被パーク呼の確立が成功または不成功であるか伝達する為に使用される。

pickup.Indication プリミティブは、SS-PICKUPが要求されていることを示す為に使用される。

pickup.RespInse(_ark or _rej) プリミティブは、SS-PICKUPの要求を承認または否認する。

pickExe.Request プリミティブは、ピックアップ元エンドポイントとの新しい通話の確立を始める為に使用される。このプリミティブは、pickup.Response_ack プリミティブによって起動される。

pickExe.Confirm プリミティブは、SS-PICKUP過程の一部である新しい通話確立の結果が成功もしくは不成功であるか示す為に使用される。

cpNotify.Indication プリミティブは、ローカルでSS-PARKが起動されていることを示す為に使用される。

cpickupNotify.Indication プリミティブは、ローカルのSS-PARKからの復旧を示す為に使用される。

10.2.2.3 パラメータ定義

cpRequest.indicationパラメータ: 10.2.1節の対応するプリミティブを参照

cpRequest.Response (ack and rej)パラメータ: 10.2.1節の対応するプリミティブを参照

cpSetup.Requestパラメータ:

- parkingNumber
- parkedNumber
- parkedToNumber
- parkedToPosition
- extensionArg

cpSetupConfirm(ack and rej)パラメータ:

- parkedToNumber
- parkedToPosition
- parkCondition
- extensionRes
- notAvailable (_rej)
- invalidCallState (_rej)
- resourceUnavailable (_rej)
- supplementaryServiceInteractionNotAllowed (_rej)
- undefined (_rej)

pickup.Indication パラメータ:

- callPickupId
- picking-upNumber
- extensionArg

pickup.Response (ack and rej) パラメータ:

- extensionRes: 製造者特別情報用のプレースホルダ
- undefined (_rej)
- callAlreadyPickedUp (_rej)

pickExe.Request パラメータ:

- callPickupId: ピックアップされる呼の識別子 (Setup-UUIE内で被パーク呼または呼出呼に割り当てられた識別子と等しい値)
- picking-upNumber: ピックアップ元パーティの別名
- partyToRetrieve: 被パークパーティ / 発信者の別名
- extensionArg: 製造者特別情報用のプレースホルダ

pickExe.Confirm (ack and rej) パラメータ

- extensionArg: 製造者特別情報用のプレースホルダ
- undefined (_rej)
- callPickupIdInvalid (_rej)

cpNotify.Indication: 10.2.1.節の対応するプリミティブを参照

cpickupNotify.Indication: 10.2.1.節の対応するプリミティブを参照

10.2.3 パーク先エンドポイント

10.2.3.1 プリミティブ一覧

表3/JT-H450.5

パーク先エンドポイントでのプリミティブ

一般名称	種別			
	要求 (req)	表示 (ind)	応答(resp)	確認(conf)
cpSetup	未定義	パラメータ	パラメータ	未定義
pickrequ	未定義	パラメータ	パラメータ	未定義
pickup	パラメータ	未定義	未定義	- 1)

注 1: “ - ” はパラメータなしを意味する。(製造者特有パラメータを適用してもよい。)

10.2.3.2 プリミティブ定義

cpSetup.Indicationプリミティブは、パーク先ユーザへ被パーク呼の確立を示す為に使用される。

cpSetup.Responseプリミティブは被パークエンドポイントに送られるcpSetup Return ResultもしくはcpSetup Return Error APDUを起動する為に使用される。

pickrequ.Indicationプリミティブは、SS-PICKUPのリモートからの要求を示す為に使用される。

pickup.Requestプリミティブは、被パークエンドポイントへのpickup.inv APDUの送信を要求する為に使用される。このプリミティブはローカルユーザ、またはリモートピックアップ元エンドポイントが受信する pickrequ.inv APDUによって起動されてもよい。

pickup.Confirmプリミティブはpickup.inv手順の結果を伝える為に使用される。

pickrequ.Responseプリミティブは、pickrequ Return Resultまたはpickrequ Return Error APDUをリモートピックアップ元エンドポイントへ送信することを要求する為に使用される。

10.2.3.3 パラメータ定義

cpSetup.Indicationパラメータ: 10.2.2.節の対応するプリミティブを参照

cpSetup.Response (ack and rej)パラメータ: 10.2.2.節の対応するプリミティブを参照

pickrequ.Indicationパラメータ:

- picking-upNumber: ピックアップ元ユーザの別名
- callPickupId: ピックアップされる被パーク呼 / 呼出呼の識別子の値
- partyToRetrieve: 被パーク / 発信ユーザ

- retrieveAddress: パーク先 / 呼出エンティティアドレス
- parkPosition: パーク先の識別子
- extensionArg: 製造者特別拡張用のプレースホルダ

pickup.Request parameters: 10.2.2.節参照

pickup.Confirm (ack and rej) パラメータ: 10.2.2.節参照

pickrequ.Response (ack and rej)パラメータ

- callPickupId: ピックアップされる被パーク呼 / 呼出呼の識別子の値
- extensionRes: 製造者特別拡張用のプレースホルダ
- undefined (_rej)
- callAlreadyPickedUp (_rej)

10.2.4 ピックアップ元エンドポイント

10.2.4.1 プリミティブ一覧

表4/JT-H450.5

グループメンバー エンドポイントでのプリミティブ

一般名称	種別			
	要求 (req)	表示 (ind)	応答 (resp)	確認(conf)
pickrequ	パラメータ	未定義	未定義	パラメータ
pickExe	未定義	パラメータ	- 1)	未定義

注1: “-” はパラメータなしを意味する。(製造者特有パラメータを適用してもよい。)

10.2.4.2 プリミティブ定義

pickrequ.Requestプリミティブは、SS-PICKUPを要求する為に使用される。

pickrequ.Confirmプリミティブは、SS-PICKUPの結果が成功もしくは不成功かを示す為に使用される。

pickExe.Indicationプリミティブは、ピックアップ元ユーザへのSS-PICKUP過程の一部である通話の確立を示す為に使用される。

pickExe.Responseプリミティブは、SS-PICKUPの結果が成功もしくは不成功かについてピックアップ元ユーザに知らせる為と、被パーク / 発信エンドポイントに送信されるpickExe Return ResultまたはpickExe Return Error APDUを起動する為に使用される。

10.2.4.3 パラメータ定義

pickrequ.Request/パラメータ: 10.2.3.節の対応するプリミティブを参照

pickrequ.Confirm (ack and rej)パラメータ: 10.2.3.節の対応するプリミティブを参照

pickExe.Indication/パラメータ: 10.2.2.節の対応するプリミティブを参照

pickExe.Response (ack and rej)パラメータ: 10.2.2.節の対応するプリミティブを参照

10.2.5 発信エンドポイント

10.2.5.1 プリミティブ一覧

表 5/JT-H450.5

発信エンドポイントでのプリミティブ

Generic name	Type			
	Request (req)	Indication (ind)	Response (resp)	Confirm (conf)
pickup	未定義	パラメータ	- ¹⁾	未定義
pickExe	パラメータ	未定義	未定義	- ¹⁾

注1:“-”はパラメータなしを意味する。(製造者特有パラメータを適用してもよい。)

10.2.5.2 プリミティブ定義

pickup.Indication プリミティブは、SS-PICKUPが要求されていることを示す為に使用される。

pickup.Response (_ack or _rej)プリミティブは、SS-PICKUPの要求を承認または否認する。

pickExe.Requestプリミティブは、ピックアップ元エンドポイントへの新しい通話の確立を始める。このプリミティブはpickup.Response_ack プリミティブによって起動される。

pickExe.Confirmプリミティブは、SS-PICKUP過程の一部である新しい通話確立の結果が成功もしくは不成功であるかを示す為に使用される。

10.2.5.3 パラメータ定義

pickup.Indicationパラメータ: 10.2.2節の対応するプリミティブを参照

pickup.Response (ack and rej)パラメータ: 10.2.2節の対応するプリミティブを参照

pickExe.Requestパラメータ: 10.2.2節の対応するプリミティブを参照

pickExe.Confirm (ack and rej)パラメータ: 10.2.2節の対応するプリミティブを参照

10.2.6 呼出エンドポイント

10.2.6.1 プリミティブ一覧

表 6/JT-H450.5

呼出エンドポイントでのプリミティブ

一般名称	種別			
	要求 (req)	表示(ind)	応答(resp)	確認 (conf)
pickrequ	未定義	パラメータ	パラメータ	未定義
pickup	パラメータ	未定義	未定義	- ¹⁾

注1:“-”はパラメータなしを意味する。(製造者特有パラメータを適用してもよい。)

10.2.6.2 プリミティブ定義

pickrequ.Indicationプリミティブは、SS-PICKUPのリモートからの要求を示す為に使用される。

pickup.Requestプリミティブは、発信エンドポイントへのpickup.inv APDUの送信を要求する為に使用される。このプリミティブは、ローカルユーザ、もしくはリモートピックアップ元エンドポイントで受信されるpickrequ.inv APDUによって起動してもよい。

pickup.Confirmプリミティブは、pickup.invの結果を伝える為に使用される。

pickrequ.Responseプリミティブは、リモートピックアップ元エンドポイントへpickrequ Return Result もしくはpickrequ Return Error APDUの送信を要求する為に使用される。

10.2.6.3 パラメータ定義

pickrequ.Indicationパラメータ: 10.2.3.節の対応するプリミティブを参照

pickup.Requestパラメータ: 10.2.3.節の対応するプリミティブを参照

pickup.Confirm (ack and rej)パラメータ: 10.2.3.節の対応するプリミティブを参照

pickrequ.Response (ack and rej)パラメータ: 10.2.3.節の対応するプリミティブを参照

10.2.7 サービス対象 エンドポイント

10.2.7.1 プリミティブ一覧

表7/JT-H450.5

サービス対象 エンドポイントでのプリミティブ

一般名称	種別			
	要求 (req)	表示 (ind)	応答 (resp)	確認 (conf)
groupIndicationOn	パラメータ	未定義	未定義	- ¹⁾
groupIndicationOff	パラメータ	未定義	未定義	- ¹⁾

注1: “-” はパラメータなしを意味する。(製造者特有パラメータを適用してもよい。)

10.2.7.2 プリミティブ定義

groupIndicationOn.Requestプリミティブは、ピックアップされる呼についてグループメンバーに通知する為に使用される。(呼出呼のSS-PICKUPと同様にグループパークにも適用される)

groupIndicationOn.Confirm (ack or rej)プリミティブはサービス対象エンドポイントへのグループ通知の結果を伝える為に使用される。

groupIndicationOff.Requestプリミティブは、以前に提示された呼がすでにピックアップされたことをグループメンバーに通知する為に使用される。

groupIndicationOff.ConfirmプリミティブはgroupIndicationOff.invの結果を示す為に使用される。

10.2.7.3 パラメータ定義

groupIndicationOn.Requestパラメータ:

- callPickupId: 復旧される呼の識別子 (JT-H225.0の識別子の値と等しい)
- groupMemberUserNr: グループメンバーユーザの別名数
- retrieveCallType: 復旧される被パーク呼または 呼出呼
- partyToRetrieve: 被パーク / 発信ユーザの別名
- retrieveAddress: パーク先 / 呼出ユーザの別名
- parkPosition: パーク先の識別子
- extensionArg: 製造者特別拡張用のプレースホルダ

groupIndicationOn.Confirm (ack and rej)パラメータ:

- extensionRes: 製造者特別拡張用のプレースホルダ
- undefined (_rej)

groupIndicationOff.Requestパラメータ:

callPickupId: もはや復旧されない呼の識別子 (JT-H225.0の識別子の値と等しい)

- groupMemberUserNr: グループメンバーの別名
- extensionArg: 製造者特別拡張用の為のプレースホルダ

groupIndicationOff.Confirm (ack and rej)パラメータ:

- extensionArg: 製造者特別拡張用のプレースホルダ
- invalidCallState (_rej)
- undefined (_rej)

10.2.8 グループメンバーエンドポイント

10.2.8.1 プリミティブ一覧

表8/JT-H450.5

グループメンバーエンドポイントでのプリミティブ

一般名称	種別			
	要求 (req)	表示 (ind)	応答 (resp)	確認 (conf)
groupIndicationOn	未定義	パラメータ	- 1)	未定義
groupIndicationOff	未定義	パラメータ	- 1)	未定義

注 1: “-” はパラメータなしを意味する (製造者特有パラメータを適用してもよい)。

10.2.8.2 プリミティブ定義

groupIndicationOn.Indicationプリミティブは、ピックアップされる呼についてグループメンバーに知らせる為に使用される (呼出呼のSS-PICKUPと同様にグループパークにも適用される)。

groupIndicationOn.Response (ack or rej)プリミティブは、サービス対象エンドポイントへのグループ通知の結果を伝える為に使用される。

groupIndicationOff.Responseプリミティブは、以前に提示された呼がすでにピックアップされたことをグループメンバーに知らせる為に使用される。

groupIndicationOff.Responseプリミティブは、groupIndicationOff.invの結果を示す為に使用される。

10.2.8.3 パラメータ定義

groupIndicationOn.Indicationパラメータ: 10.2.7節の対応するプリミティブを参照

groupIndicationOn.Response (ack and rej)パラメータ: 10.2.7節の対応するプリミティブを参照

groupIndicationOff.Indicationパラメータ: 10.2.7節の対応するプリミティブを参照

groupIndicationOff.Response (ack and rej) パラメータ: 10.2.7節の対応するプリミティブを参照

10.3 呼状態

10.3.1 パーク元エンドポイント A

CP-Idle: SS-PARKは起動されていない

CP-Requested: SS-PARKが要求され、被パークエンドポイントからの確認を待っている

10.3.2 被パークエンドポイント B

CP-Idle: SS-PARKは起動されていない。

CP-SetupReq: SS-PARKが要求され、パーク元エンドポイントがパーク先エンドポイントからの確認を待っている。

CpickupSetupInit: 被パークエンドポイントは、ピックアップ元エンドポイントへpickExe invoke APDUと共に新しい呼設定を送り、結果を待っている。

10.3.3 パーク先エンドポイント(パーク先)

CP-Idle: コールパークは起動されていない。

CP-WaitforPickup: 呼がパークされている。被パーク呼はパーク解除されるのを待っている(グループメンバーへの通知を送ってもよいし、送らなくてもよい)。

CP-NotifiedWaitforPickup: 呼がローカルでパークされている。被パーク呼はパーク解除されるのを待っている(グループメンバーへの通知を送ってもよいし、送らなくてもよい)。

CpickupIdle: 被パーク呼のコールピックアップは起動されていない。

CpickupRequested: SS-PICKUPはローカルピックアップ元ユーザによって要求され、被パークエンドポイントからの応答を待っている。

CpickupRemoteRequested: SS-PICKUPはリモートピックアップ元ユーザによって要求され、被パークエンドポイントからの応答を待っている。

10.3.4 発信エンドポイント

CpickupIdle: SS-PICKUPは起動されていない。

CpickupSetupInit: 発信エンドポイントは、ピックアップ元エンドポイントへpickExe invoke APDUと共に新しい呼設定を送り、結果を待っている。

10.3.5 呼出エンドポイント

CpickupIdle

WaitforPickup: 呼出ユーザに電話がかけられていることを知らせ、ピックアップされるのを待っている。

CpickupRequested: SS-PICKUPは(ローカルで)要求され、発信エンドポイントからピックアップを待っている。

CpickupRemoteRequested: 呼出呼のSS-PICKUPがリモートピックアップ元ユーザによって要求され、発信エンドポイントからの応答を待っている。

10.3.6 サービス対象 エンドポイント

GP-Idle

GP-NotifyOnReq: サービス対象エンドポイントは、groupIndicationOn Invoke APDUへの確認を待っている。

GP-NotifyOffReq: サービス対象エンドポイントは、groupIndicationOff Invoke APDUへの確認を待っている。

10.3.7 グループメンバー エンドポイント

特別な呼状態は適用されていない

10.3.8 ピックアップ元エンドポイント

CpickupIdle

CpickupRemoteRequ: ピックアップ元エンドポイントはパーク先 / 呼出エンドポイントからの応答を待っている

CpickupWaitSetup: ピックアップ元エンドポイントは被パーク / 発信エンドポイントからの新しい通話の確立を待っている

10.4 タイマー

T1はCP-Requestedの状態のパーク元エンドポイントで動作しなければならない。その使用目的は新しい接続（被パーク呼）確立の失敗を防ぐ為である。

T2はCP-SetupRequ.の状態の被パークエンドポイントで動作してもよい。その使用目的は、被パーク呼が確立する間の失敗を防ぐ為である。T2は送信されるJT-H225.0 呼設定メッセージの一部として動作している JT-H225.0 タイマT303を置き換えてもよい。（もしくは、JT-H225.0 timer T303の値に影響を与えてもよい。）

T3はCP-WaitforPickupとCP-NotifiedWaitforPickupの状態のパーク先エンドポイントで動作しなければならない。使用目的は、与えられた時間内に被パーク呼がピックアップされない事態を防ぐ為である。

T4はGP-NotifyOnRequの状態のサービス対象エンドポイントで動作しなければならない。その使用目的は、ピックアップグループメンバーエンドポイントから何の応答も受けない事態を防ぐ為である。

T5はGP-NotifyOffRequの状態のサービス対象エンドポイントで動作しなければならない。その使用目的は、ピックアップグループメンバーエンドポイントから何の応答も受けない事態を防ぐ為である。

T6はCpickupRequestの状態のパーク先 / 呼出エンドポイントで動作しなければならない。その使用目的は、被パーク / 発信エンドポイントから何の応答も受けない事態を防ぐ為である。

T7は（パーク先 / 呼出エンドポイントにとってリモートである）ピックアップ元エンドポイントで動作しなければならない。その使用目的は、パーク先 / 呼出ユーザから何の応答も受けない事態を防ぐ為である。

T8はCpickupWaitSetupの状態のピックアップ元エンドポイントで動作しなければならない。その使用目的は、被パーク / 発信エンドポイントとピックアップエンド元ポイントの間での新しい通話の確立の失敗を防ぐ為である。

T9はCpickupRemoteRequestedの状態のパーク先エンドポイントで動作しなければならない。その使用目的は、被パークエンドポイントから応答を受けない事態を防ぐ為である。

T10はCpickupSetupInitの状態の被パークまたは発信エンドポイントで動作しなければならない。その使用目的は、新しい通話の確立中に失敗を防ぐ為である。

11 SS-PARKとSS-PICKUPをサポートするオペレーション

Call-Park-Pickup-Operations

```
{itu-t recommendation h 450 5 version1(0) call-park-pickup-operations(0)}
```

DEFINITIONS AUTOMATIC TAGS ::=

BEGIN

IMPORTS OPERATION, ERROR FROM Remote-Operations-Information-Objects

```
{joint-iso-itu-t remote-operations (4) informationObjects (5)
version1(0) }
```

EXTENSION, Extension { } FROM Manufacturer-specific-service-extension-definition

```
{ itu-t recommendation h 450 1 version1(0) msi-definition(18)}
```

notAvailable, invalidCallState, resourceUnavailable,

supplementaryServiceInteractionNotAllowed FROM H4501-General-Error-List

```
{ itu-t recommendation h 450 1 version1(0) general-error-list (1) }
```

EndpointAddress FROM Addressing-Data-Elements

```
{itu-t recommendation h 450 1 version1(0) addressing-data-elements(9)}
```

MixedExtension FROM Call-Hold-Operations

```
{itu-t recommendation h 450 4 version1(0) call-hold-operations(0)}
```

NonStandardParameter, CallIdentifier FROM H323-MESSAGES; -- JT-H225.0参照

CallParkPickupOperations OPERATION ::=

```
{cpRequest | cpSetup | groupIndicationOn | groupIndicationOff | pickrequ | pickup | pickExe |
cpNotify | cpickupNotify }
```

cpRequest OPERATION ::=

```
{ -- SS-PARKを起動するために、パーク元エンドポイントから被パークエンドポイントへ送信される。
```

```
ARGUMENT CpRequestArg
```

```
RESULT CpRequestRes
```

```
ERRORS { notAvailable |
```

```
基本サービスとともに、利用できない機能
```

```
invalidCallState | -- 現在の呼状態では可能でないコールパーク
```

```
resourceUnavailable | -- 被パーク呼の最大数
```

```
supplementaryServiceInteractionNotAllowed |
```

```
-- 他の付加サービスがコールパーク起動を禁止する。
```

```
undefined -- 未定義理由
```

```
}
```

```
CODE local: 106 }
```

CpRequestArg ::= SEQUENCE

```

        {parkingNumber      EndpointAddress,
        parkedNumber       EndpointAddress,
        parkedToNumber     EndpointAddress,
        parkedToPosition   ParkedToPosition      OPTIONAL,
        extensionArg       SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
        ... }

CpRequestRes ::= SEQUENCE
    {parkedToNumber      EndpointAddress,
    parkedToPosition    ParkedToPosition      OPTIONAL,
    parkCondition       ParkCondition,
    extensionResSEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
    ...}

cpSetup OPERATION ::=
    { -- 被パークエンドポイントからパーク先エンドポイントへ送信される。
    ARGUMENT    CpSetupArg
    RESULT      CpSetupRes
    ERRORS {    notAvailable |
                基本サービスとともに利用できない機能
                invalidCallState | -- 現在の呼状態では可能でないコールパーク
                resourceUnavailable | -- 被パーク呼の最大数
                supplementaryServiceInteractionNotAllowed |
                -- 他の付加サービスがコールパーク起動を禁止する。
                undefined -- 未定義理由
            }

CODE    local: 107 }

CpSetupArg ::= SEQUENCE
    {parkingNumber      EndpointAddress,
    parkedNumberEndpointAddress,
    parkedToNumber     EndpointAddress,
    parkedToPosition   ParkedToPosition      OPTIONAL,
    extensionArg       SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
    ... }

CpSetupRes ::= SEQUENCE
    {parkedToNumber      EndpointAddress,
    parkedToPosition    ParkedToPosition      OPTIONAL,
    parkCondition       ParkCondition,
    extensionRes        SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,

```

```

...}

groupIndicationOn      OPERATION      ::=
{ -- パーク先エンドポイント/呼出エンドポイントからグループメンバへ送信される。
  ARGUMENT      GroupIndicationOnArg
  RESULT        GroupIndicationOnRes
  ERRORS {undefined      -- 未定義理由}
CODE           local: 108 }

GroupIndicationOnArg ::= SEQUENCE {
  callPickupId      CallIdentifier,
  復旧される呼の識別子 (被パークあるいは、呼出呼)
  -- その値は、Setup-UUIE内に被パーク/呼出呼のために割り当てられるCallIdentifierの値
  に等しい。
  groupMemberUserNr      EndpointAddress,
  retrieveCallType      CallType,
  partyToRetrieve      EndpointAddress, -- 被パークあるいは、発信ユーザ
  retrieveAddress      EndpointAddress, -- パーク先あるいは、呼出エンティティアドレス
  (GKであってもよい、9.2項参照)
  parkPositionParkedToPosition      OPTIONAL,
  extensionArg      SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
  ...}

GroupIndicationOnRes ::= SEQUENCE
{extensionRes      SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
  ...}

groupIndicationOff      OPERATION      ::=
{ -- パーク先エンドポイント/呼出エンドポイントから、グループメンバへ送信される。
  ARGUMENT      GroupIndicationOffArg
  RESULT        GroupIndicationOffRes
  ERRORS {  invalidCallState |      -- グループ通知がオンでない
           undefined      -- 未定義理由
        }
CODE           local: 109 }

GroupIndicationOffArg ::= SEQUENCE {
  callPickupId      CallIdentifier,
  -- ピックアップされている呼の識別子 (被パークあるいは、呼出呼)
  groupMemberUserNr      EndpointAddress,

```

```

extensionArg          SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
...}

GroupIndicationOffRes ::= SEQUENCE
{extensionRes          SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
...}

pickrequ              OPERATION ::=
{ -- ピックアップ元ユーザから、パーク先/呼出エンドポイントへ、SS-PICK起動の一部として
    送信される。
    ARGUMENT          PickrequArg
    RESULT            PickrequRes
    ERRORS {          undefined |          -- 未定義理由
                callAlreadyPickedUp      -- 呼はすでに、別のユーザによってピックアップされて
                いる。
            }
}

CODE                  local: 110 }

PickrequArg ::= SEQUENCE
{picking-upNumber      EndpointAddress,
callPickupId          CallIdentifier OPTIONAL,
                    ビックアップされる呼の識別子(被パークあるいは、呼出呼)、既知の場合
partyToRetrieve        EndpointAddress OPTIONAL, -- 被パークあるいは、発信ユーザ
retrieveAddress        EndpointAddress, -- パーク先あるいは、呼出エンティティアドレス
parkPositionParkedToPosition  OPTIONAL,
extensionArg          SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
...}

PickrequRes ::= SEQUENCE
{callPickupId          CallIdentifier,
    -- ビックアップされている呼の識別子(被パークあるいは、呼出呼)であり、pickrequ invokeで送信
    -- されない場合、パーク先/呼出エンドポイントで割り当てられ、後にpickExe invoke APDUと関連
    -- 付けるために、被パーク/呼出呼のCallIdentificationを反映する。
extensionRes          SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
...}

pickup                OPERATION ::=
{ -- ピックアップ元ユーザがSS-PICKを起動した後、パーク先/呼出エンドポイントから、被パーク/
    -- 発信エンドポイントへ送信される。ピックアップ元ユーザはローカルであっても(すなわち、パーク

```

```

-- 先/呼出エンドポイントがピックアップ元エンドポイント)、あるいは、リモートであってもよい。
-- (すなわち、ピックアップ元ユーザが、リモートピックアップ元エンドポイントに位置し、パーク先/
-- 呼出エンドポイントへ、pickrequ invoke APDUを送信している。)

ARGUMENT    PickupArg
RESULT      PickupRes
ERRORS {    undefined |                -- 未定義理由
            callAlreadyPickedUp      -- 別のユーザによって、呼はすでにピックアップされている。
        }

CODE        local: 111 }

PickupArg ::= SEQUENCE
    {callPickupId          CallIdentifier,
    -- ピックアップされる呼(被パークあるいは、呼出呼)の識別子は、Setup-UUIEに設定され、この呼に
    -- 割り当てられたCallIdentifier値に等しい。
    picking-upNumber      EndpointAddress,
    extensionArg          SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
    ...}

PickupRes ::= SEQUENCE
    {extensionRes        SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
    ...}

pickExe    OPERATION    ::=
    { -- 被パーク/発信エンドポイントから、ピックアップ元エンドポイントへ送信される。
    ARGUMENT    PickExeArg
    RESULT      PickExeRes
    ERRORS {    undefined |                -- 未定義理由
                callPickupIdInvalid
                -- 以前のSS-PICKUP要求と一致しない値
            }
    CODE        local: 112 }

PickExeArg ::= SEQUENCE
    {callPickupId          CallIdentifier,
    -- ピックアップされる被パーク/呼出呼の識別子、起動されたSS-PICKUPと、pickExe invoke APDU
    -- を運ぶ着信した呼設定メッセージとを関連付けるために、ピックアップ元エンドポイントで必要とされ
    -- る。
    picking-upNumber      EndpointAddress,
    partyToRetrieve       EndpointAddress, -- 被パークあるいは、発信ユーザ

```

```

extensionArgSEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
...}

PickExeRes ::= SEQUENCE
{extensionRes          SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
...}

cpNotify OPERATION ::=
{ -- ローカルパークの場合に、パーク元エンドポイントから被パークエンドポイントへ送信される。
    ARGUMENT    CpNotifyArg          OPTIONAL TRUE
    RETURN RESULT          FALSE
    ALWAYS RESPONDS          FALSE
    CODE          local: 113
}

CpNotifyArg ::= SEQUENCE
{parkingNumber          EndpointAddress          OPTIONAL,
extensionArg          SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
...}

cpickupNotify OPERATION ::=
{ -- ローカルパークからのSS-PICKUPの場合に、パーク先エンドポイントから、被パークエンドポイントへ送信される。
    ARGUMENT    CpickupNotifyArg          OPTIONAL TRUE
    RETURN RESULT          FALSE
    ALWAYS RESPONDS          FALSE
    CODE          local: 114
}

CpickupNotifyArg ::= SEQUENCE
{picking-upNumber          EndpointAddress          OPTIONAL,
extensionArgSEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
... }

ParkedToPosition ::= INTEGER (0..65535)

ParkCondition ::= ENUMERATED
    unspecified (0),
    parkedToUserIdle (1),
    parkedToUserBusy (2),
    parkedToGroup (3),
    ...}

CallType ::= ENUMERATED

```

```

        parkedCall (0),
        alertingCall (1),
        ...}
callPickupIdInvalid  ERROR      ::=
    { CODE          local: 2000}

callAlreadyPickedUp  ERROR      ::=
    { CODE          local: 2001}

undefined  ERROR      ::=
    { PARAMETER     SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension  OPTIONAL TRUE
      CODE          local:2002 }

END      -- of Call-Park-Pickup-Operations

```

12 仕様記述言語 (SDL) 図

SS-PARK と SS-PICKUP シグナリングエンティティの手順を図 14/JT-H450.5から図28/ JT-H450.5にSDL形式で記述する。

SDLは信頼性のあるJT-H225.0コネクション上のSS-PARK と SS-PICKUPメッセージのみを示す。JT-H245手順（たとえば 端末能力交換、マスター/スレーブの決定、論理チャネルのオープン・クローズなど）は示していない。

ネットワーク経由で送信されたROSE APDUを、下記の太字を用いた略語で示す：

(.inv)	インボークAPDU
(.rr)	リターンリザルトAPDU
(.re)	リターンエラーAPDU
(.rej)	リジェクトAPDU

プリミティブと その意味は10.2項で指示する。

SDLは7.1項から7.8項までで定義されている手順を描写する。ゲートキーパのSDLのようなかわりの手順は提供しない。

SDLと先に挙げた章の文章に矛盾がある場合は文章を優先しなければならない。

被パーク呼のSS-PICKUPの手順と呼出呼のSS-PICKUPの手順はほとんど同じであることから、これらのSDLは結合している。多くのケースにおいて、付加サービス呼の状態名だけが、両アプリケーション間で違って来る。-そして、以下のSDL中の状態記号：“被パーク呼の SS-PICKUP状態/呼出呼のSS-PICKUP状態” が構文の意味を示す。

次のSDLで使用している記号は図13/JT-H450.5で定義する。

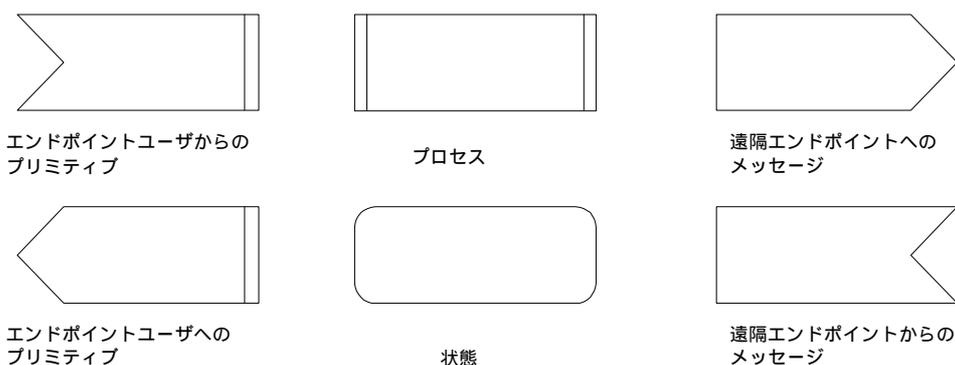


図 13/JT-H450.5
SDL 記号

SDLの概要

図14-17:SS-PARK - パーク元エンドポイント、被パークエンドポイントとパーク先エンドポイント

図 18-19: SS-PICKUP (被パーク呼または呼出呼の) - ピックアップ元エンドポイント

図 20-23: SS-PICKUP - パーク先/呼出エンドポイント

図 24-25: SS-PICKUP - 被パーク/発信エンドポイント

図 26-28: グループメンバー通知(呼出呼のコールピックアップと同様、被パーク呼のコールピックアップの) - サービス対象エンドポイントとグループメンバーエンドポイント

12.1 SS-PARK SDL:

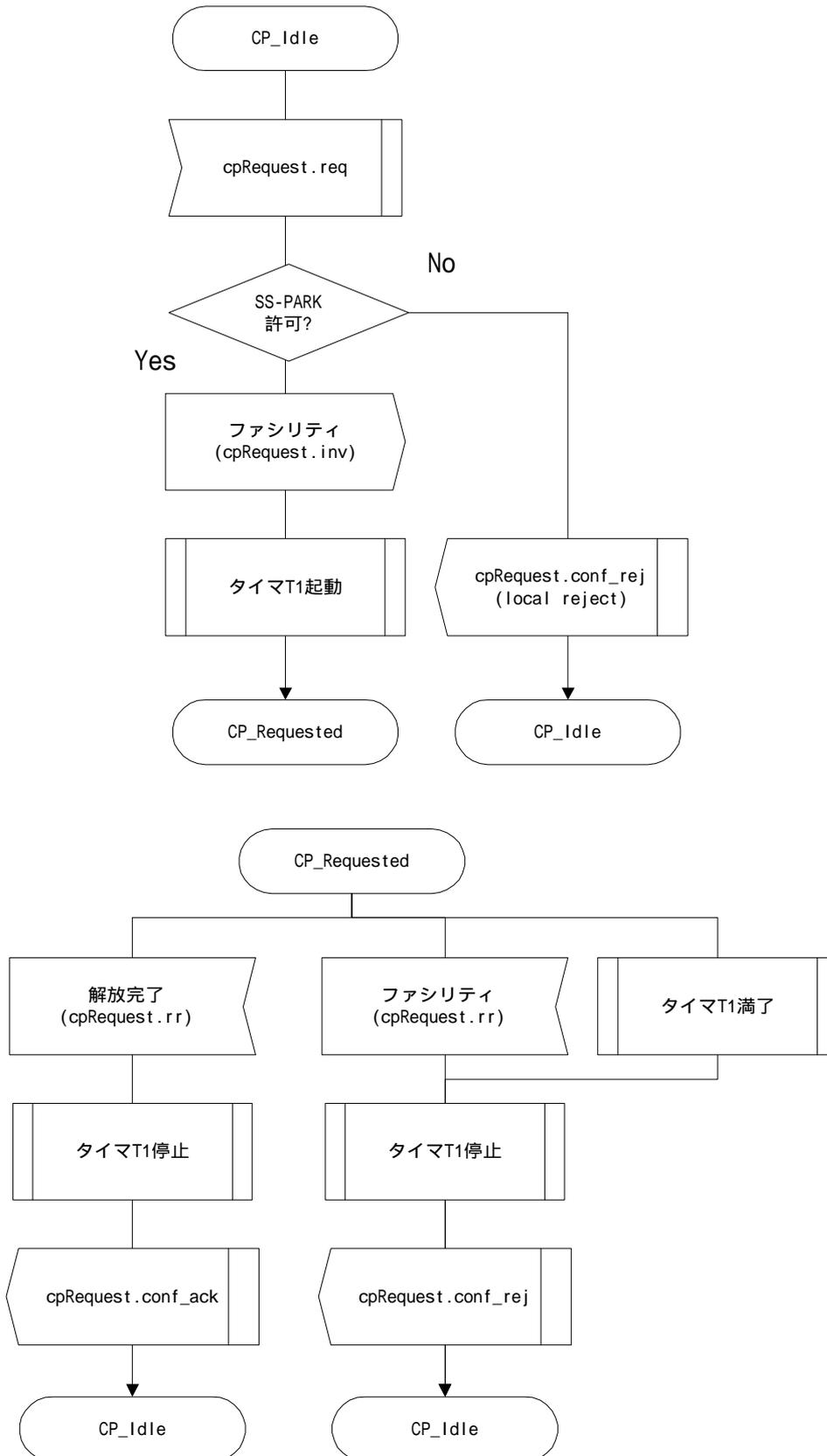


図14/JT-H450.5

SS-PARK - パーク元エンドポイントSDL

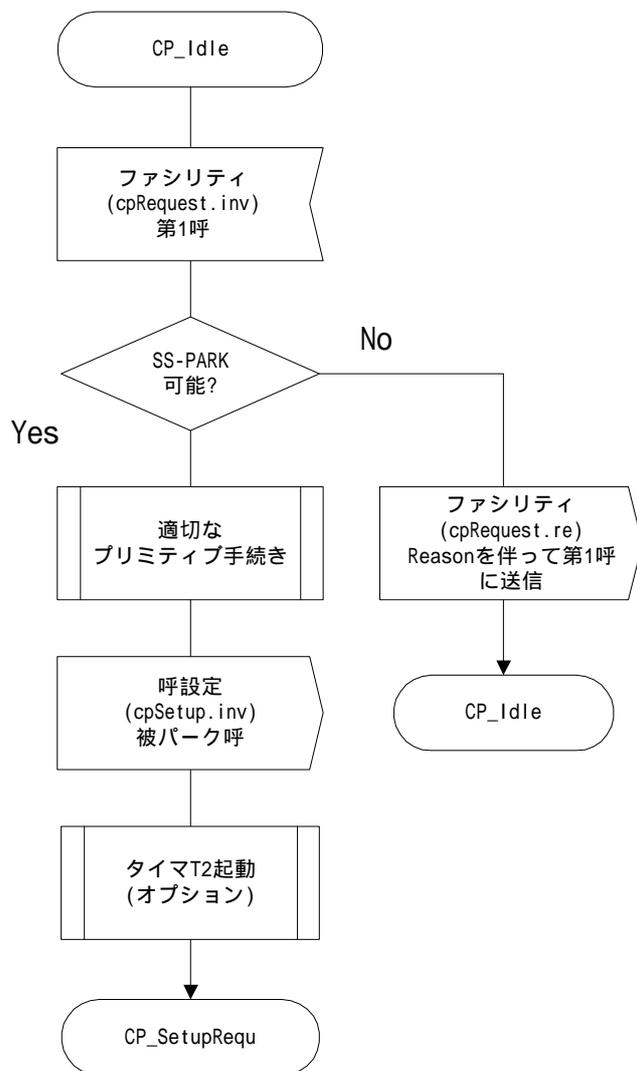
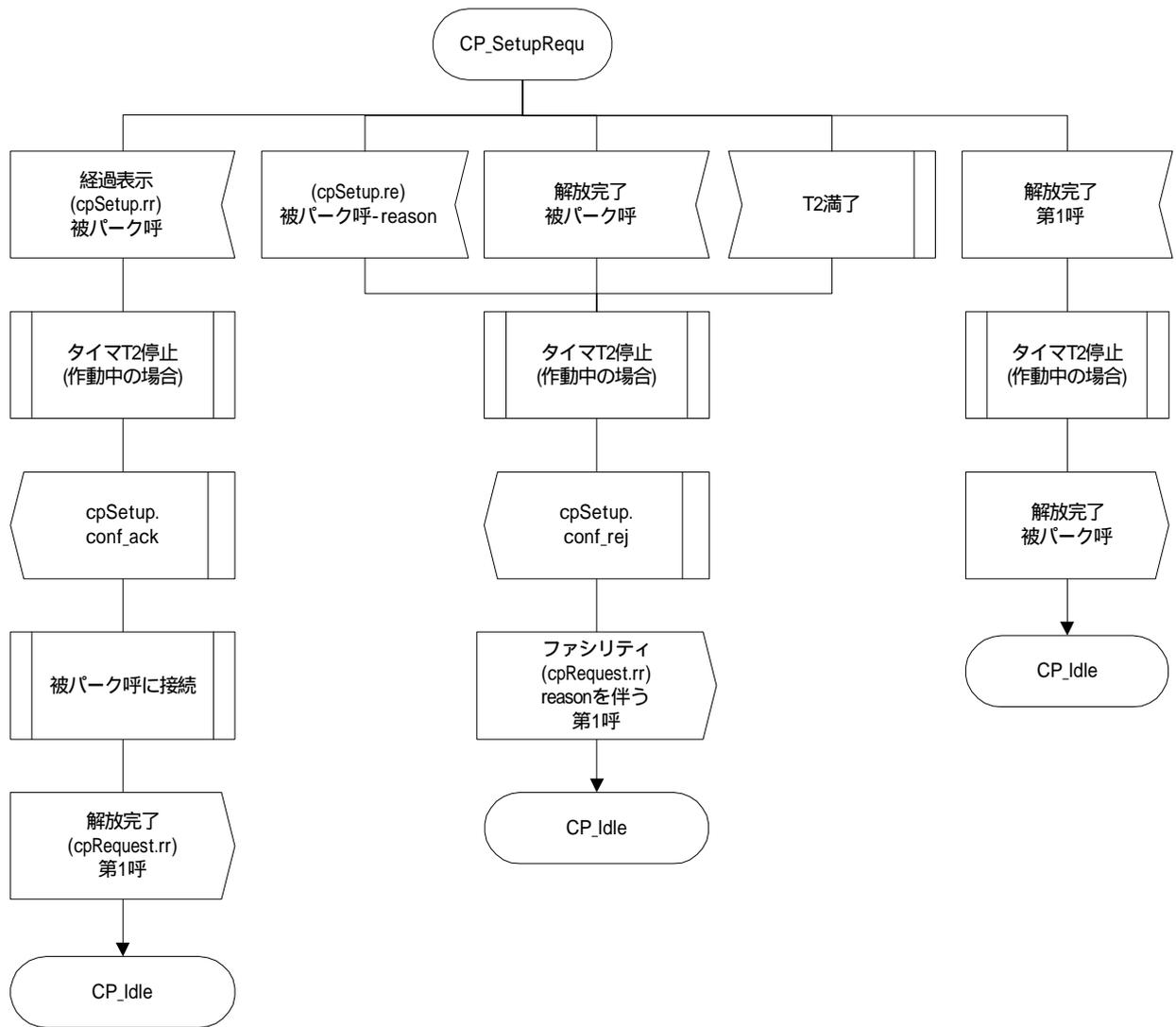


図15/JT-H450.5

SS-PARK - 被パークエンドポイントSDL(1/2)



被パーク呼が解放時に
パーク元エンドポイント
へオプションで再発呼

図16/JT-H450.5

SS-PARK - 被パークエンドポイントSDL(2/2)

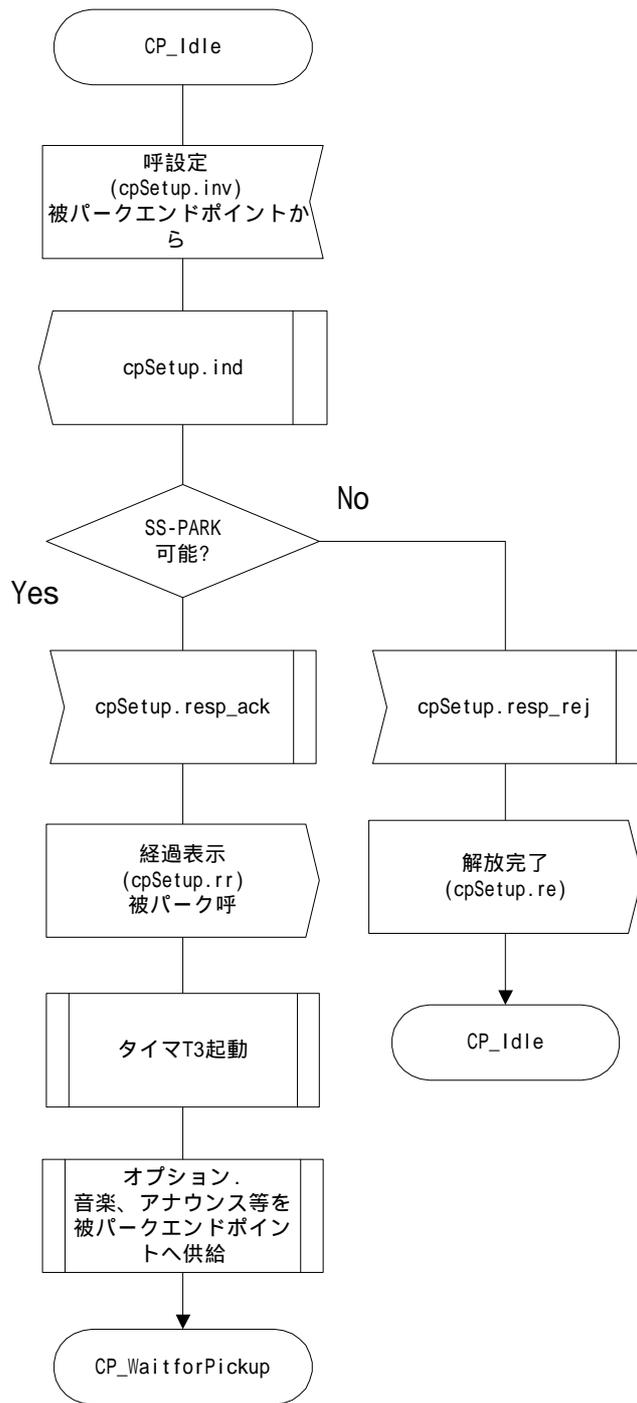


図17/JT-H450.5

SS-PARK - パーク先エンドポイントSDL

12.2 SS-PICKUP SDL:

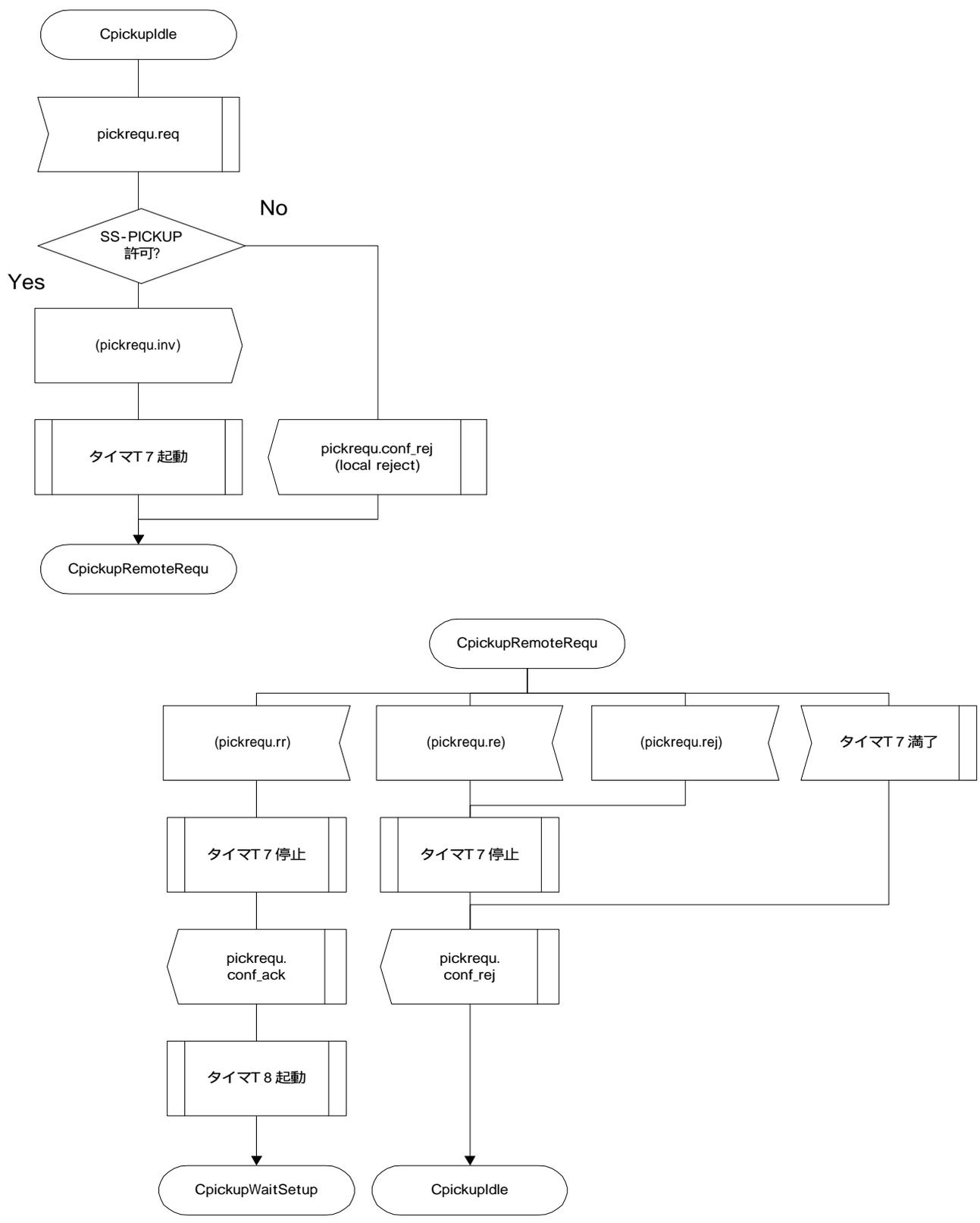


図18/JT-H450.5

(被パーク呼または呼出呼の) SS-PICKUP - ピックアップ元エンドポイントSDL 1/2

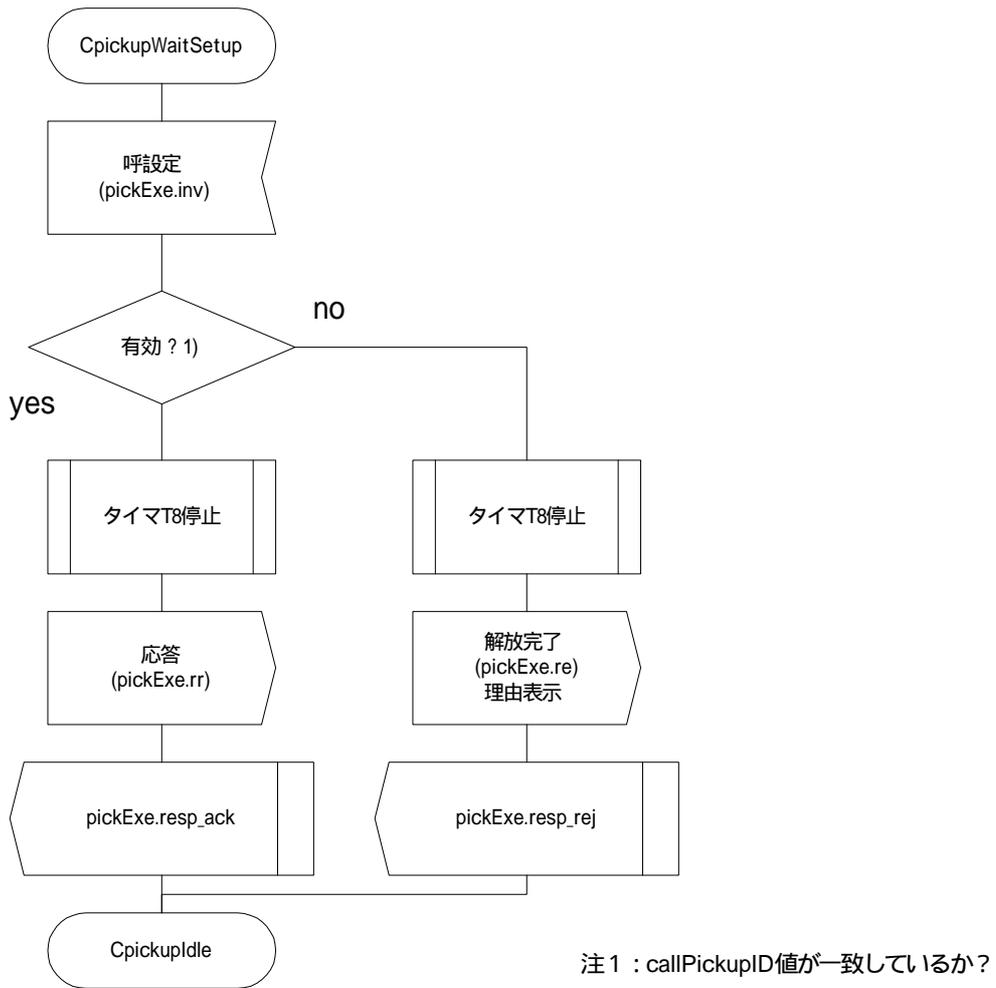
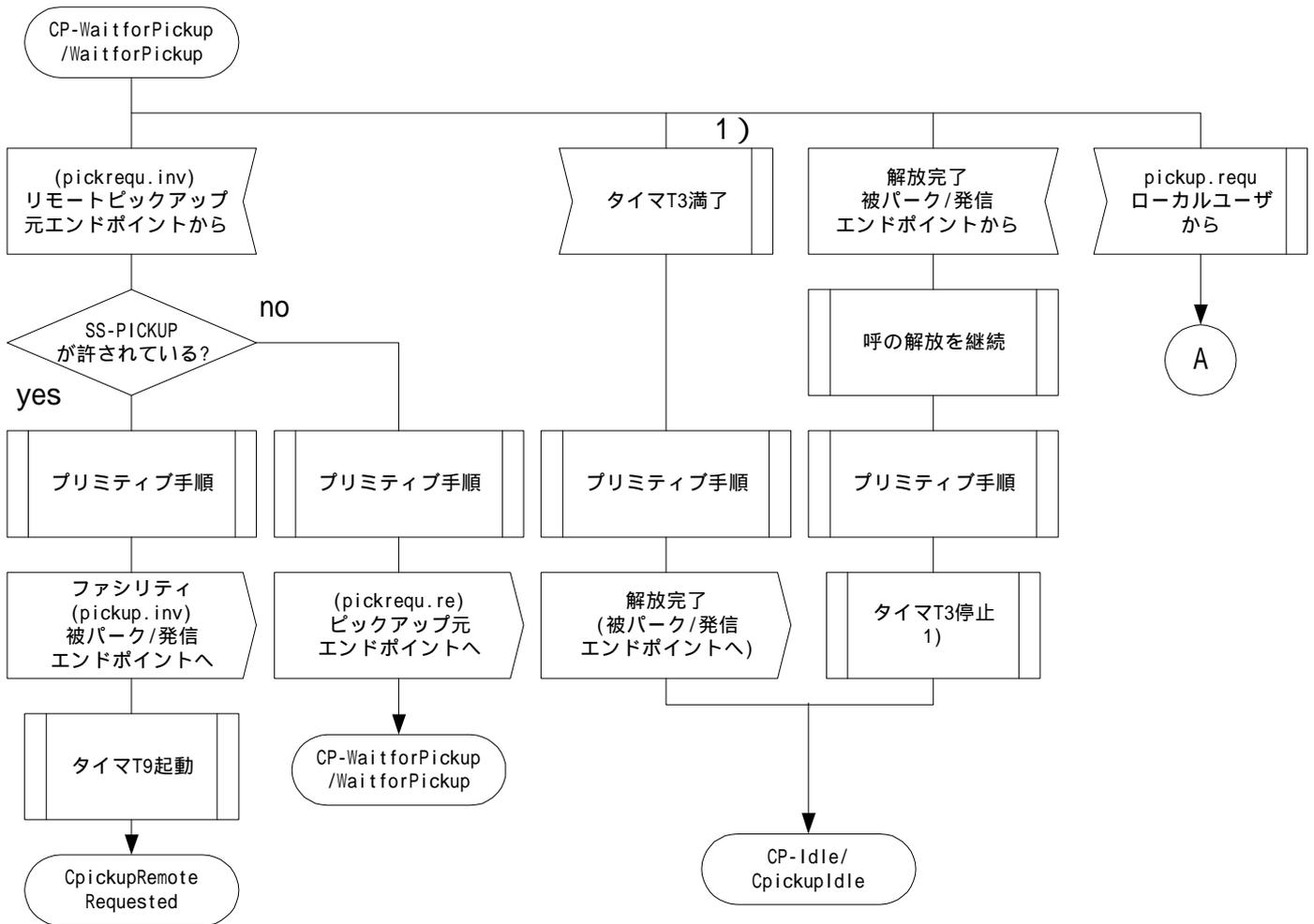


図19/JT-H450.5
SS-PICKUP (被パーク呼または呼出呼の) - ピックアップ元エンドポイントSDL 2/2



注1：被パーク呼の
SS-PICKUPにのみ適用可

図20/JT-H450.5

SS-PICKUP - パーク先 / 呼出エンドポイントSDL 1/4

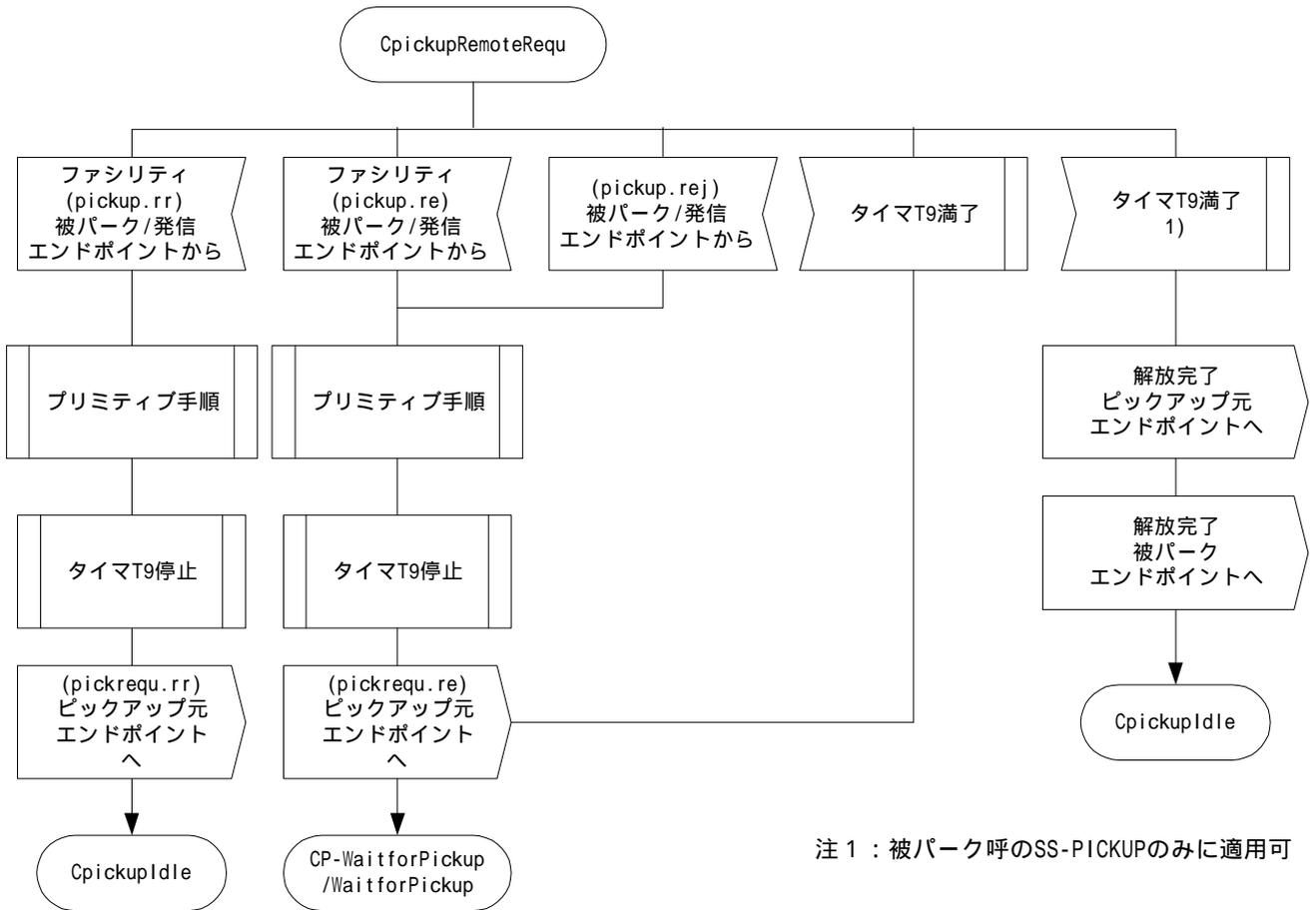
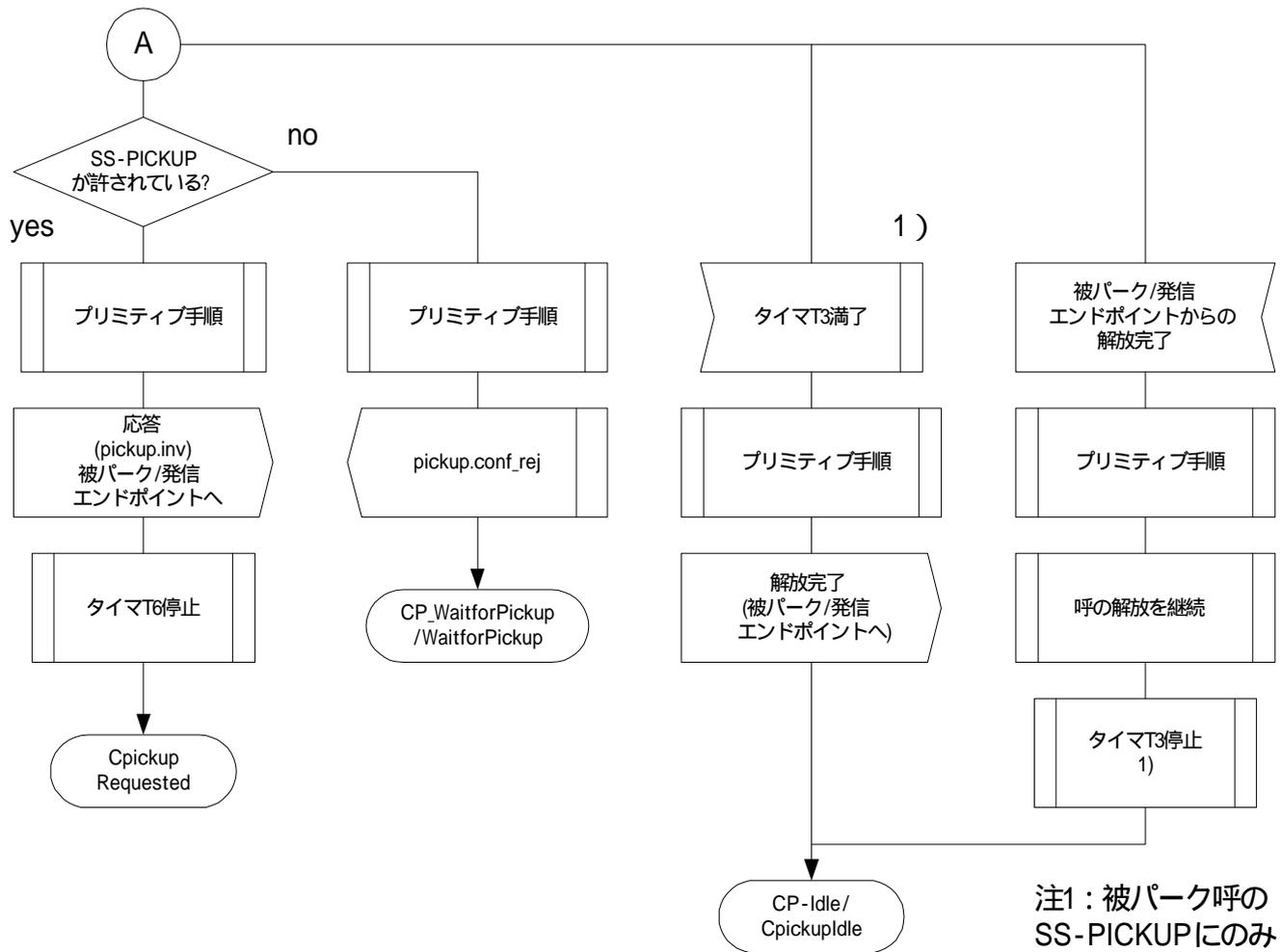


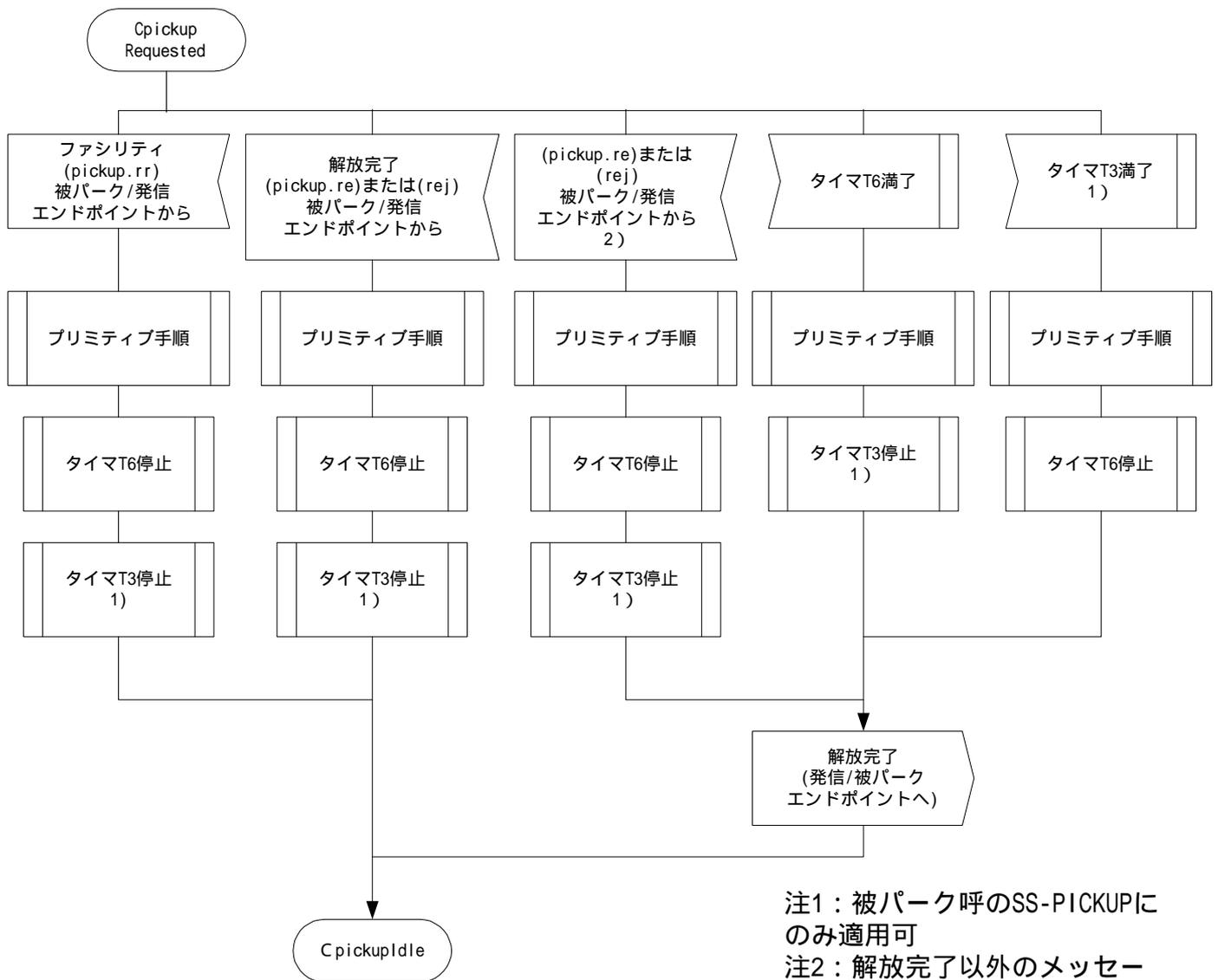
図21/JT-H450.5
SS-PICKUP パーク先 / 呼出エンドポイントSDL 2/4



注1：被パーク呼の
SS-PICKUPにのみ
適用可

図22/JT-H450.5

SS-PICKUP - パーク先 / 呼出エンドポイントSDL 3/4



注1：被パーク呼のSS-PICKUPにのみ適用可
 注2：解放完了以外のメッセージ中（例：ファシリティ）

図23/JT-H450.5
 SS-PICKUP - パーク先 / 呼出エンドポイントSDL 4/4

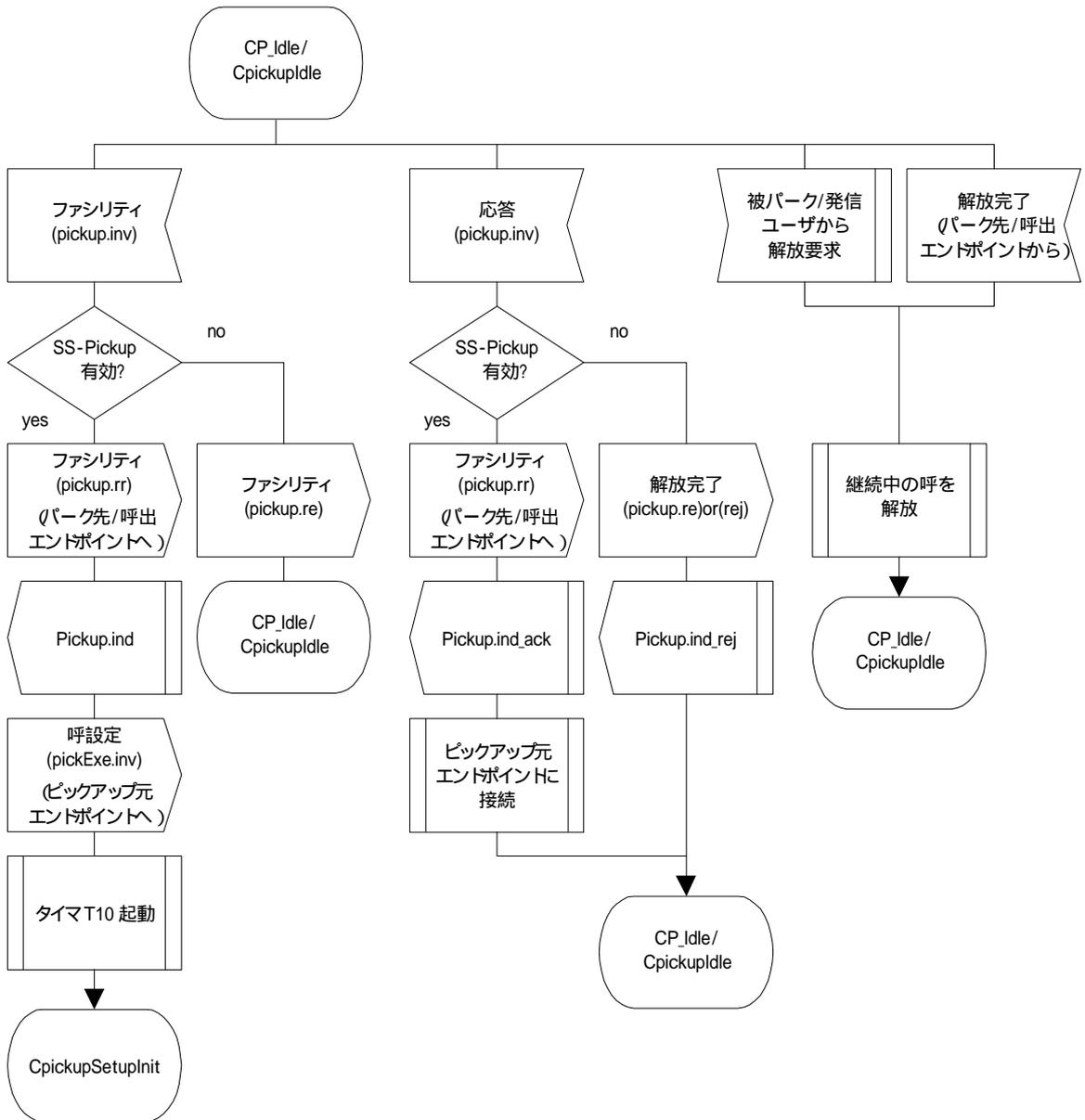


図24/JT-H450.5

SS-PICKUP-被パーク / 発信エンドポイント SDSL 1/2

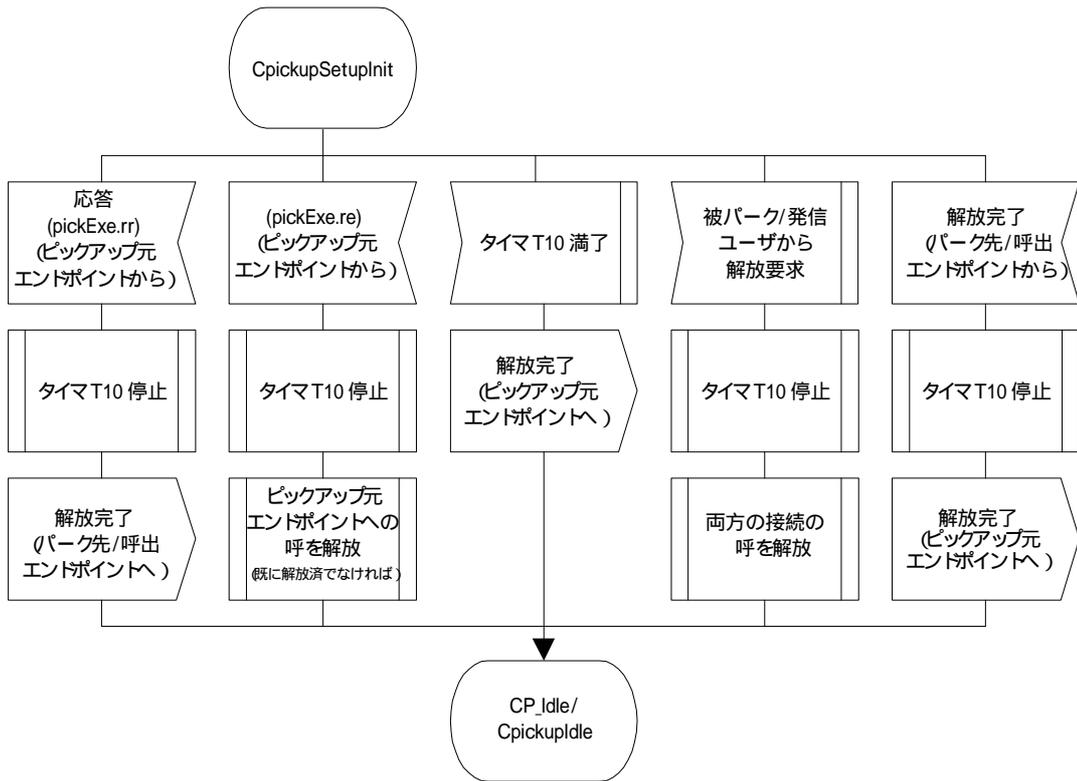


図25/JT-H450.5

SS-PICKUP-被パーク / 発信エンドポイントSDL 2/2

12.3 SS-PARK、SS-PICKUP グループ通知：

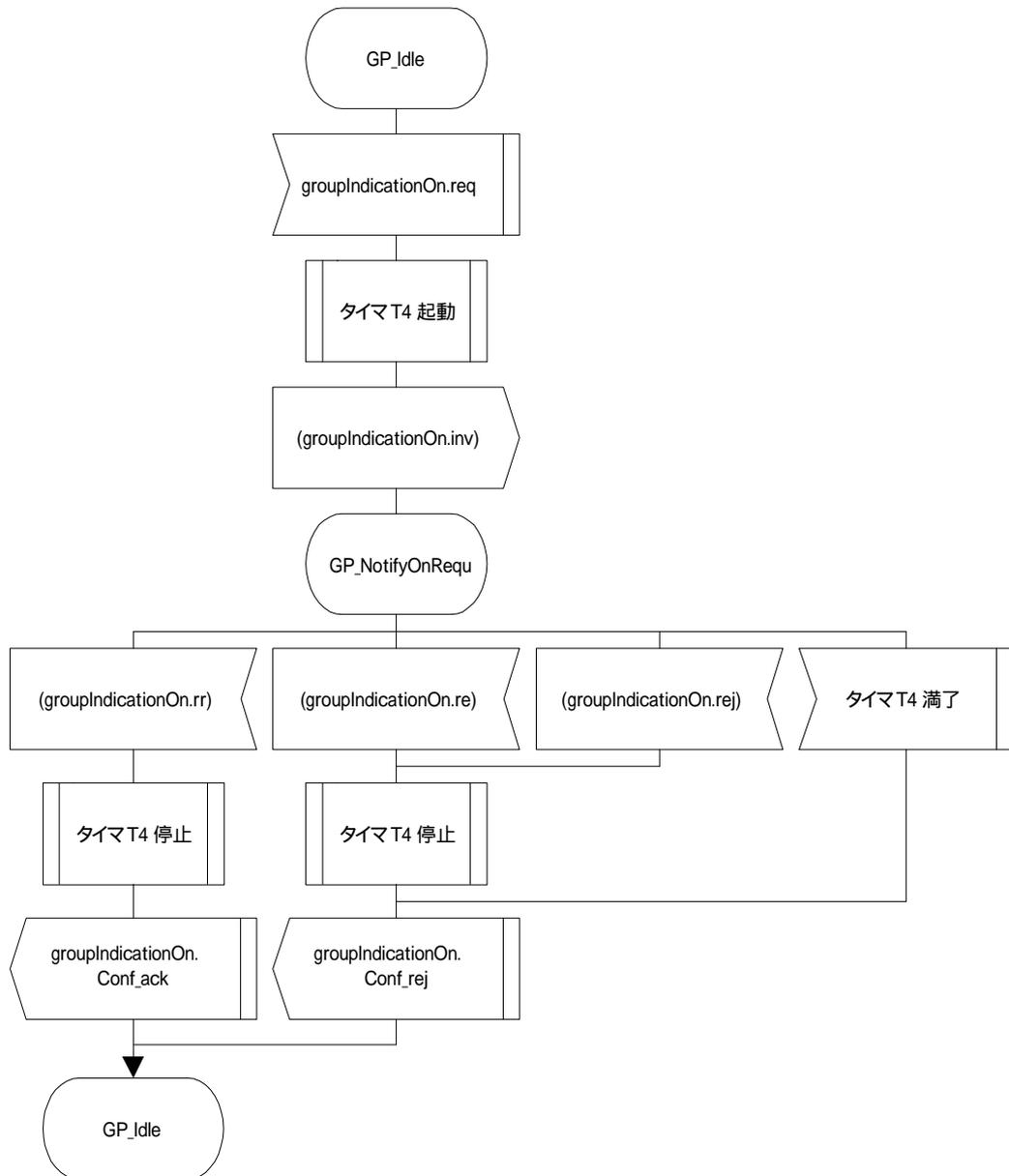


図26/JT-H450.5

グループ通知 - オンSDL (サービス対象エンドポイント)

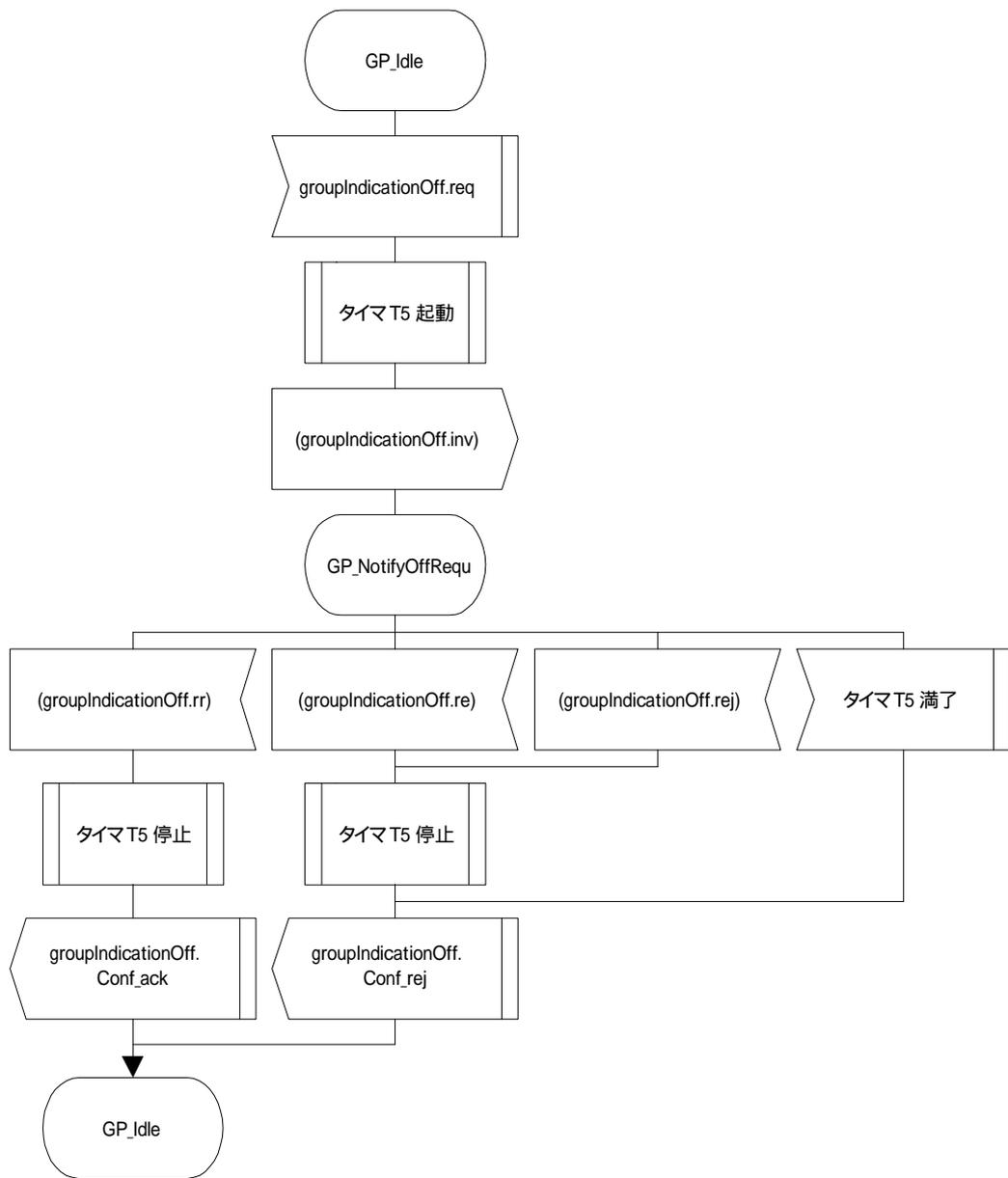


図27/JT-H450.5

グループ通知 - オフSDL (サービス対象エンドポイント)

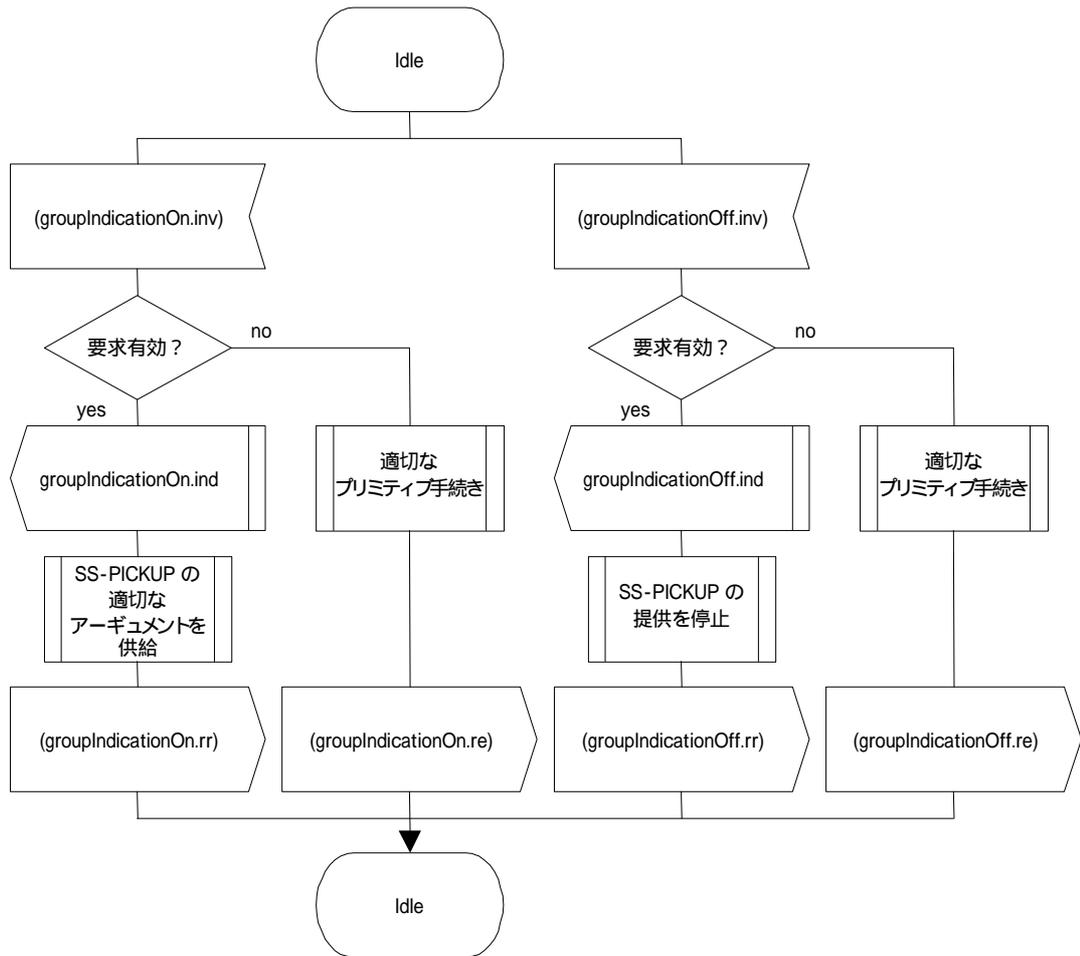


図28/JT-H450.5

グループ通知 - オン/オフSDL (グループメンバーエンドポイント)

第1版 執筆作成協力者 (敬称略) (1999年9月現在)

(JT-H450.5 制定)

第三部門委員会

部門委員長 飯島 裕雄 日本電気(株)
副部門委員長 小澤 和幸 NTTコミュニケーションズ(株)
副部門委員長 山岡 一仁 沖電気工業(株)

委員	川内 晴雄	ケイ・ティ・ディ(株)	委員	蟻川 義男	東京電力(株)
"	山階 正樹	NTT 移動通信網(株)	"	中村 寿博	日本情報通信コンサルティング(株)
"	森 文男	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	"	古賀 得二	WG3-1 委員長・富士通(株)
"	牟田 総男	岩崎通信機(株)	"	中山 文信	WG3-1 副委員長・(株)東芝
"	勝川 保	住友電気工業(株)	"	森田 隆士	WG3-2 委員長・(株)日立製作所
"	酒井 一郎	日本アイ・ピー・エム(株)	"	久保 輝	WG3-2 副委員長・NTTコミュニケーションズ(株)
"	井坂 章	(株)リコー	"	小林 信之	WG3-2 副委員長・三菱電機(株)

第三部門委員会 第二専門委員会

専門委員長 森田 隆士 (株)日立製作所
副専門委員長 久保 輝幸 NTTコミュニケーションズ(株)
副専門委員長 小林 信之 三菱電機(株)

委員	野崎 均	(株)インテック	委員	大西 洋也	(株)フジクラ
"	牟田 総男	岩崎通信機(株)	"	田川 昌俊	富士ゼロックス(株)
"	千村 保文	沖電気工業(株)	"	小野 嘉久	富士通(株)
"	高橋 匠	キヤノン(株)	"	村田 健一郎	古河電気工業(株)
"	西田 正樹	シャープ(株)	"	森 孝志	松下通信工業(株)
"	大間 稔	住友電気工業(株)	"	沼倉 歩	三菱電機(株)
"	関 豊	(株)東芝	"	寺尾 雄一	(株)リコー
"	金田 佳久	日本アイ・ピー・エム(株)	"	山崎 哲哉	(株)アルファシステムズ
"	沼田 幸喜	日本ルセントテクノロジー(株)	"	岩倉 久純	東京電力(株)
"	坂本 秀紀	日本電気(株)	"	加藤 芳章	日本情報通信コンサルティング(株)
"	宮川 徳一	日本無線(株)	"	濱井 龍明	(株)京セラDDI未来通信研究所
"	木下 成顕	(株)日立製作所			

[JT-H450.5の制定 検討グループ]

リーダー	千村 保文	沖電気工業(株)	委員	佐藤 克彦	日本無線(株)
委員	新 政薦	NTTコミュニケーションズ(株)	"	氏家 誠	(株)日立製作所
"	石井 基章	(株)インテック	"	西村 孝士	(株)日立テレコムテクノロジー
"	宇田川 研一	岩崎通信機(株)	"	梅津 彰人	(株)フジクラ
"	山田 武史	沖電気工業(株)	"	高木 健至	富士通(株)
"	谷川 兆宏	キヤノン(株)	"	吉羽 治峰	松下通信工業(株)
"	岩田 康裕	住友電気工業(株)	"	中村 貞利	三菱電機(株)
"	樫本 晋一	(株)東芝	"	寺尾 雄一	(株)リコー
"	中橋 修	日本電気(株)			
"	東 義一	日本ビクター(株)			

事務局 元吉 茂 (第三技術部)